

# 令和7年度 長野県こどもモニター事業

## 第1回こどもモニターアンケート調査結果

テーマ：学校生活に関すること

(学校での意見表明、学校のきまり・校則、学校行事など)

令和7年9月

長野県

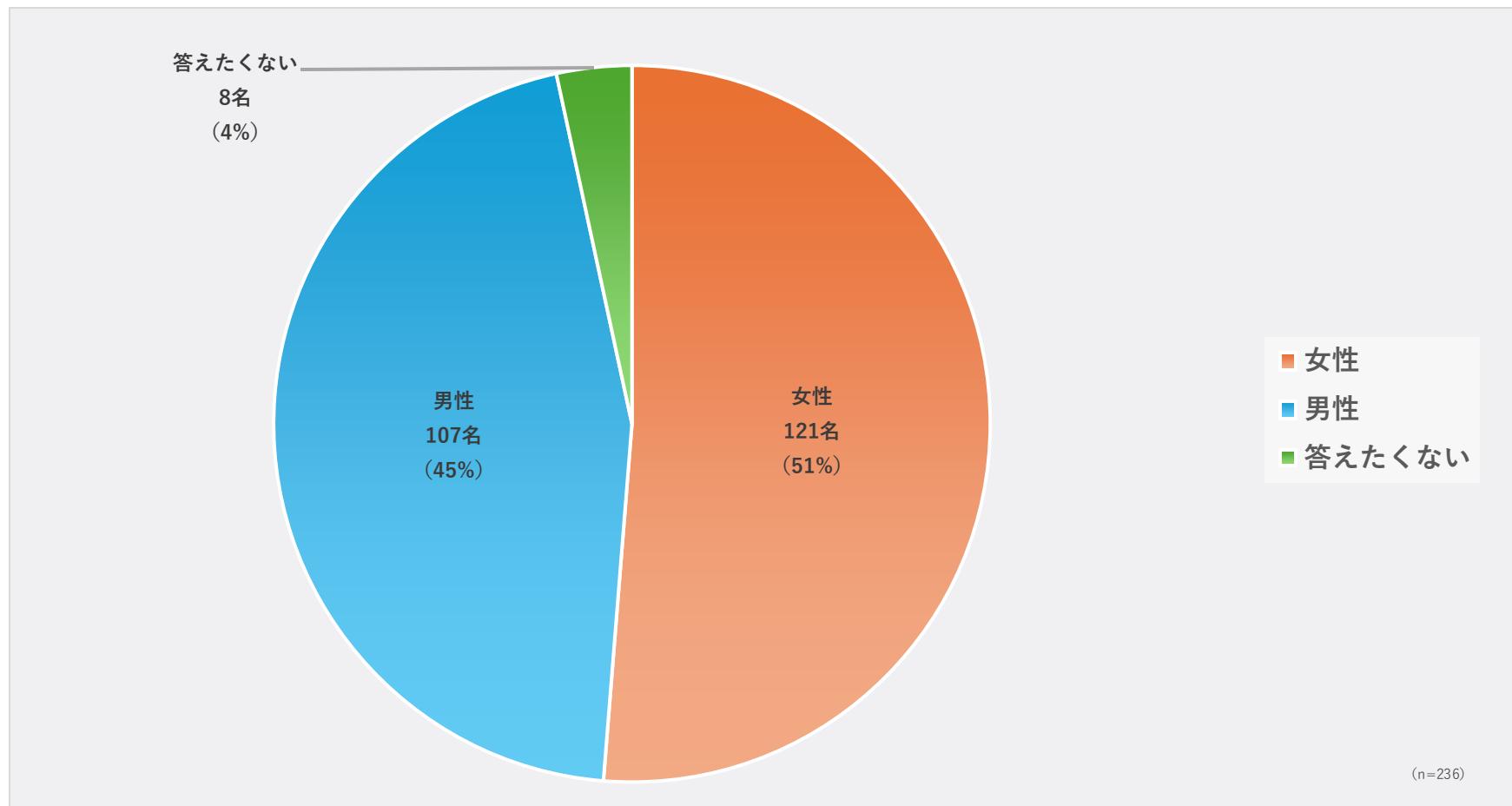
事業受託者：株式会社C&Yパートナーズ

# 1. 調査の概要

---

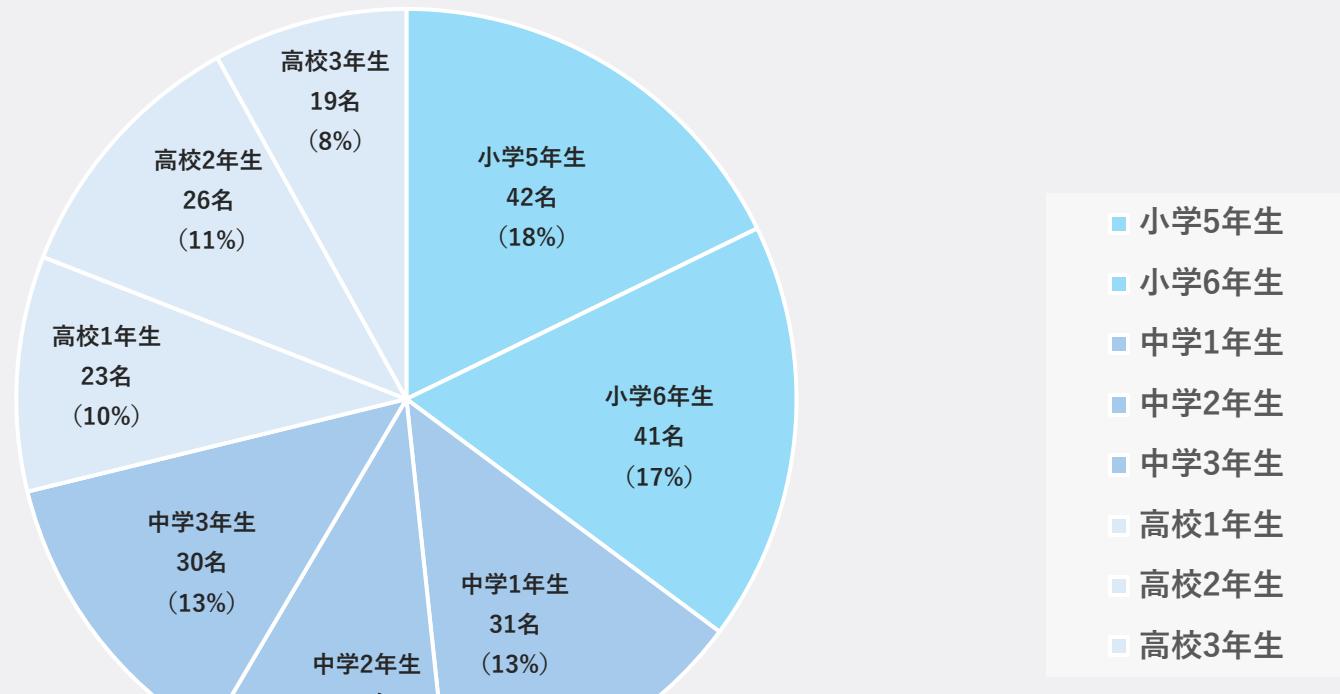
項目	内容
調査対象者	長野県内の小学5年生～高校3年生 300名（小学生：102名、中学生：101名、高校生：97名） ※こどもモニター登録者
調査期間	令和7年8月31日（日）～9月20日（土）
調査方法	WEBアンケート調査
回答者数	236名（小学生：83名、中学生：85名、高校生：68名） /こどもモニター登録者300名【回答率78.7%】
調査テーマ	学校生活に関すること (学校での意見表明、学校のきまり・校則、学校行事など)

## 2-1. 回答者の属性：性別構成



- ・男性：107名（45.3%）、女性：121名（51.3%）、「答えたくない」：8名（3.4%）という結果だった。

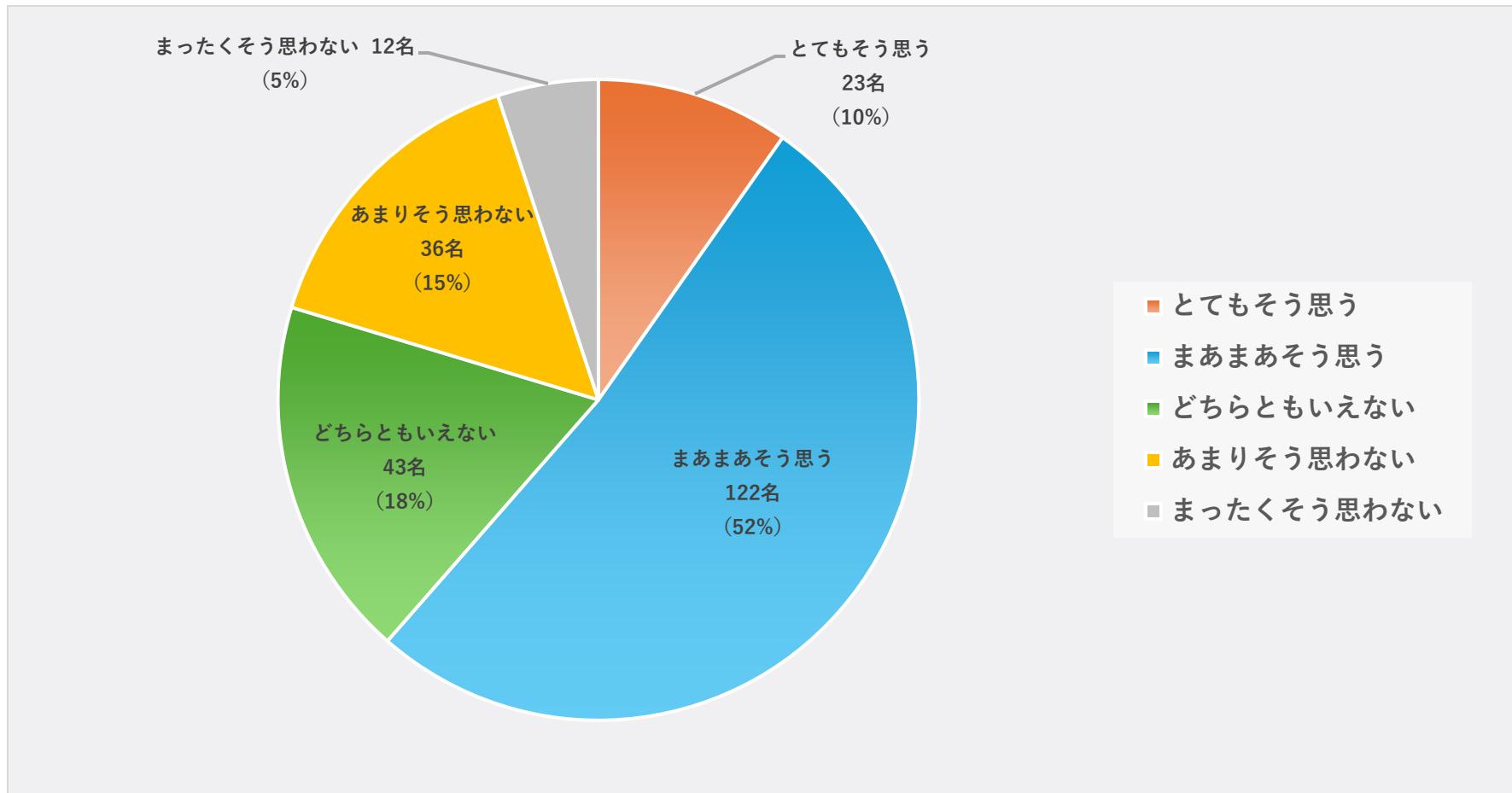
## 2-2. 回答者の属性：学年別構成



- 小学5・6年生の回答が多く、学年が上がるにつれて回答数は減少傾向にあるが、どの学年からも大きな偏りなく回答を得ることができた。

### 3. 大問1：学校での意見表明

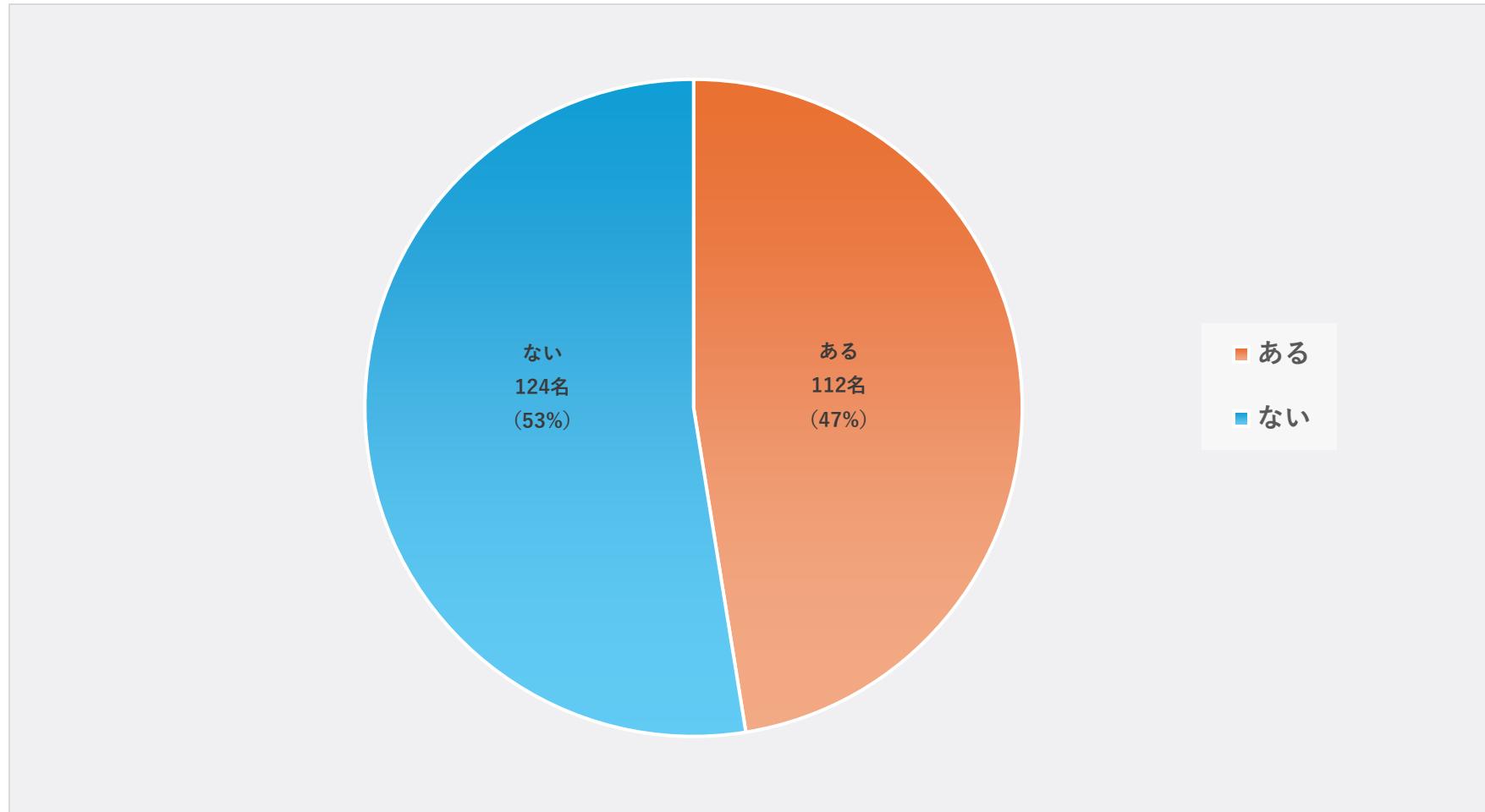
#### 問1-1：自分たちが出した意見やアイデアで学校生活が変わると思いますか



- 「とてもそう思う」「まあまあそう思う」と合わせて**61.4%**の児童・生徒が学校への意見表明で学校生活が変わると感じている。一方、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」は約**2割**程度。「どちらともいえない」は**18.2%**となった。

### 3. 大問1：学校での意見表明

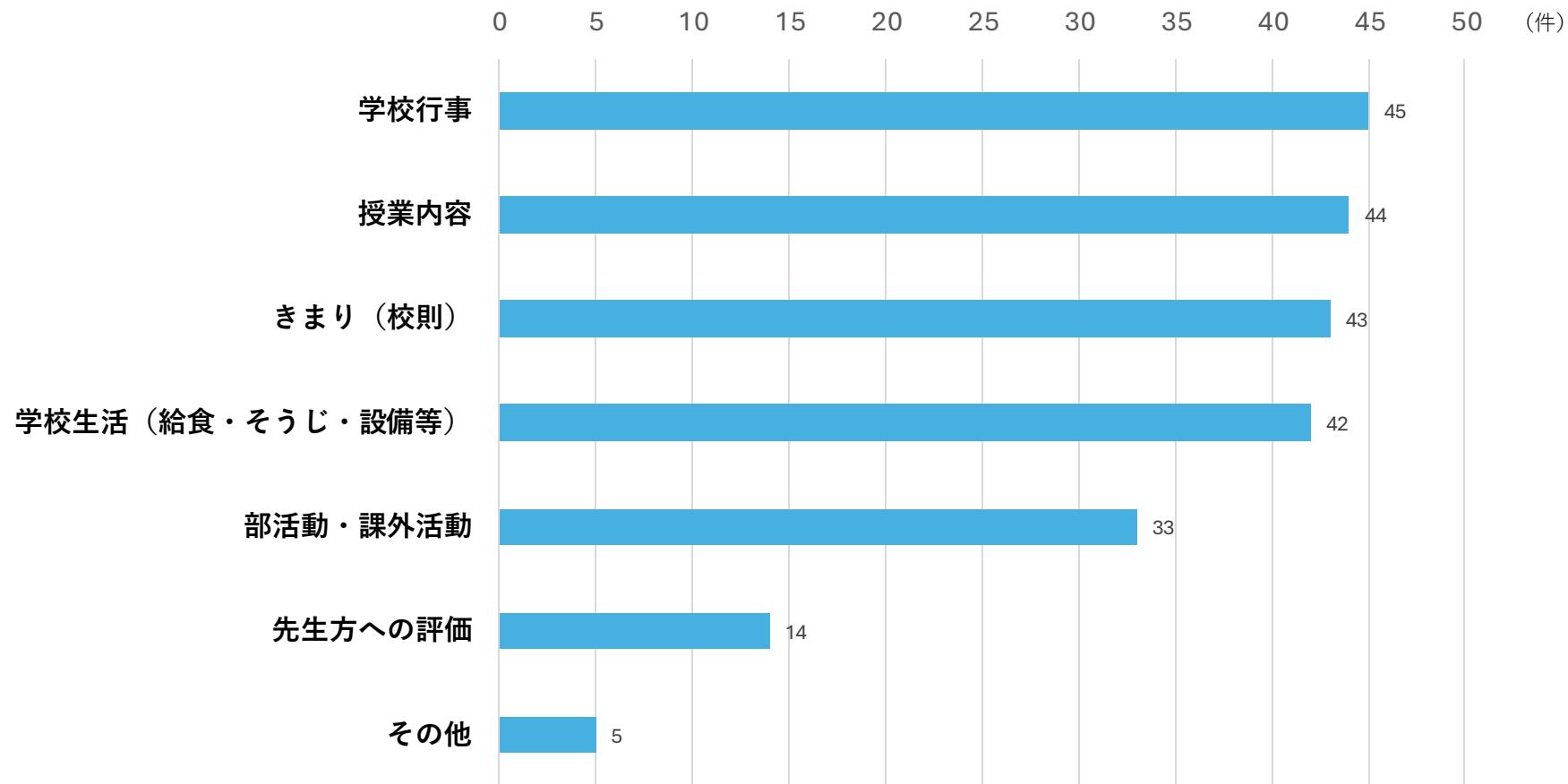
問1-2：学校に関することで、今までに先生に意見やアイデアを伝えたことはありますか



- 「ある」 112名 (47.5%)、「ない」 が124名 (52.5%) でほぼ半数に分かれた。

### 3. 大問1：学校での意見表明

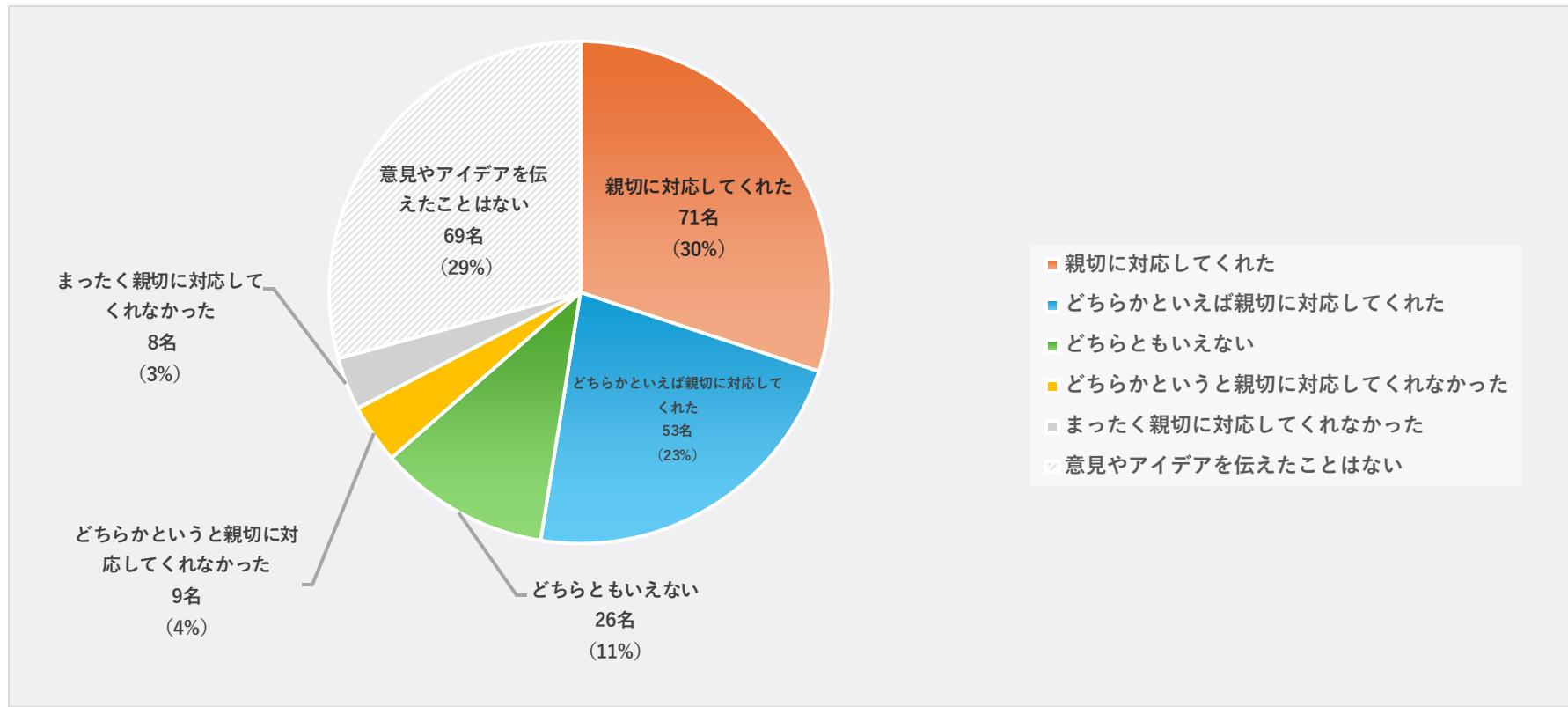
(1-2続き) 「ある」を選んだ場合は、次の中から内容について、当てはまるものを選択してください  
(複数選択可)



- ・ その他の回答：「えいご」「クーラーつけて欲しい」「はっきり覚えていない」など

### 3. 大問1：学校での意見表明

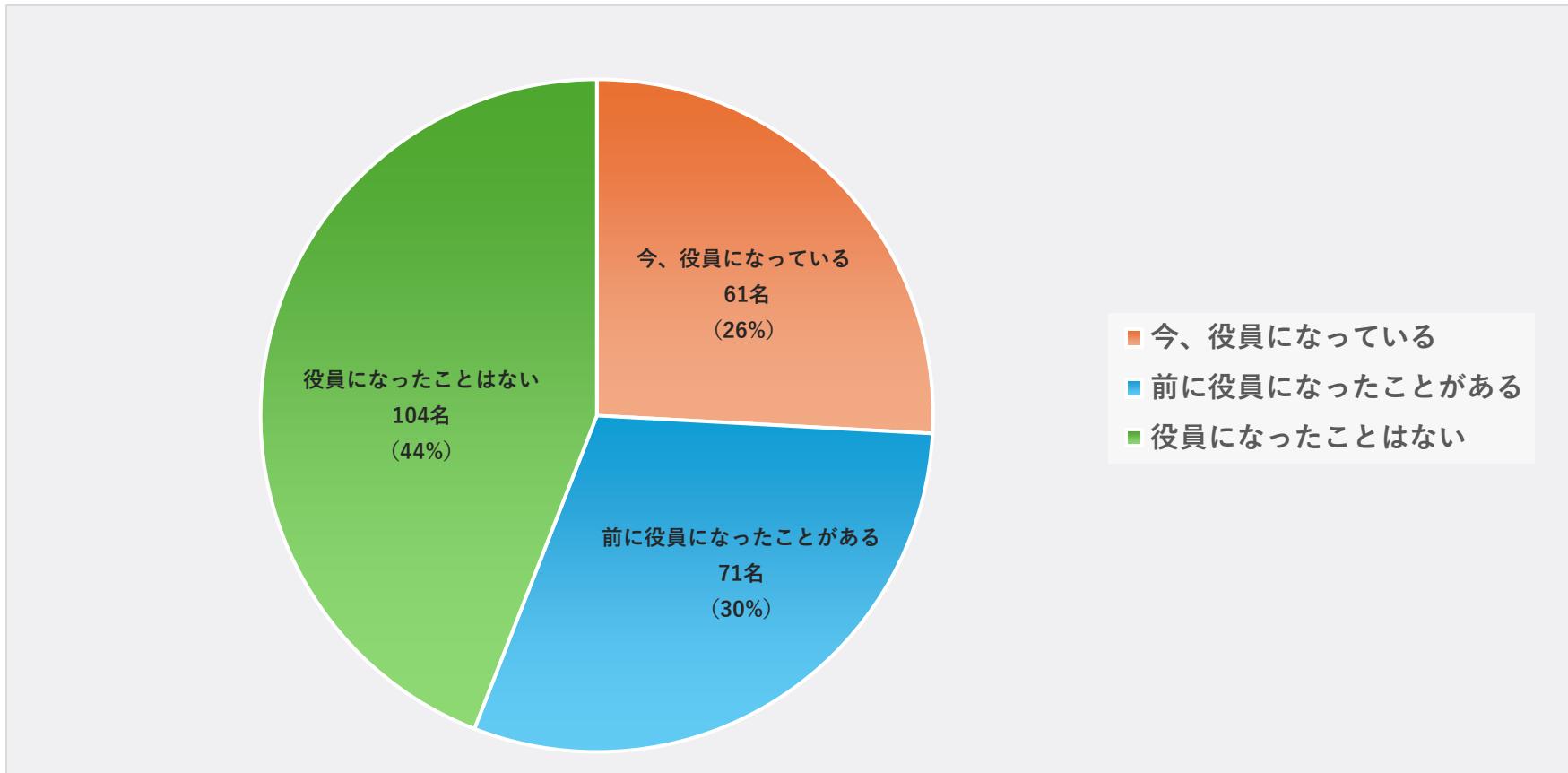
問1-3：自分たちが意見やアイデアを先生に伝えた時、先生方はどのような対応をしてくれましたか



- 「親切に対応してくれた」と「どちらかといえば親切に対応してくれた」という肯定的な回答が合計**124名 (52.5%)**と過半数を占めた。
- 「どちらかというと親切に対応してくれなかった」「まったく親切に対応してくれなかった」と、否定的な回答は合計**17名 (7.2%)**にとどまった。
- 「意見やアイデアを伝えたことはない」では、中学生 (34.1%)、高校生 (36.8%) に比べ、小学生 (18.1%) が低く、**小学生は中高生に比べ、意見表明に対するハードルが低いことがうかがえる。**

### 3. 大問1：学校での意見表明

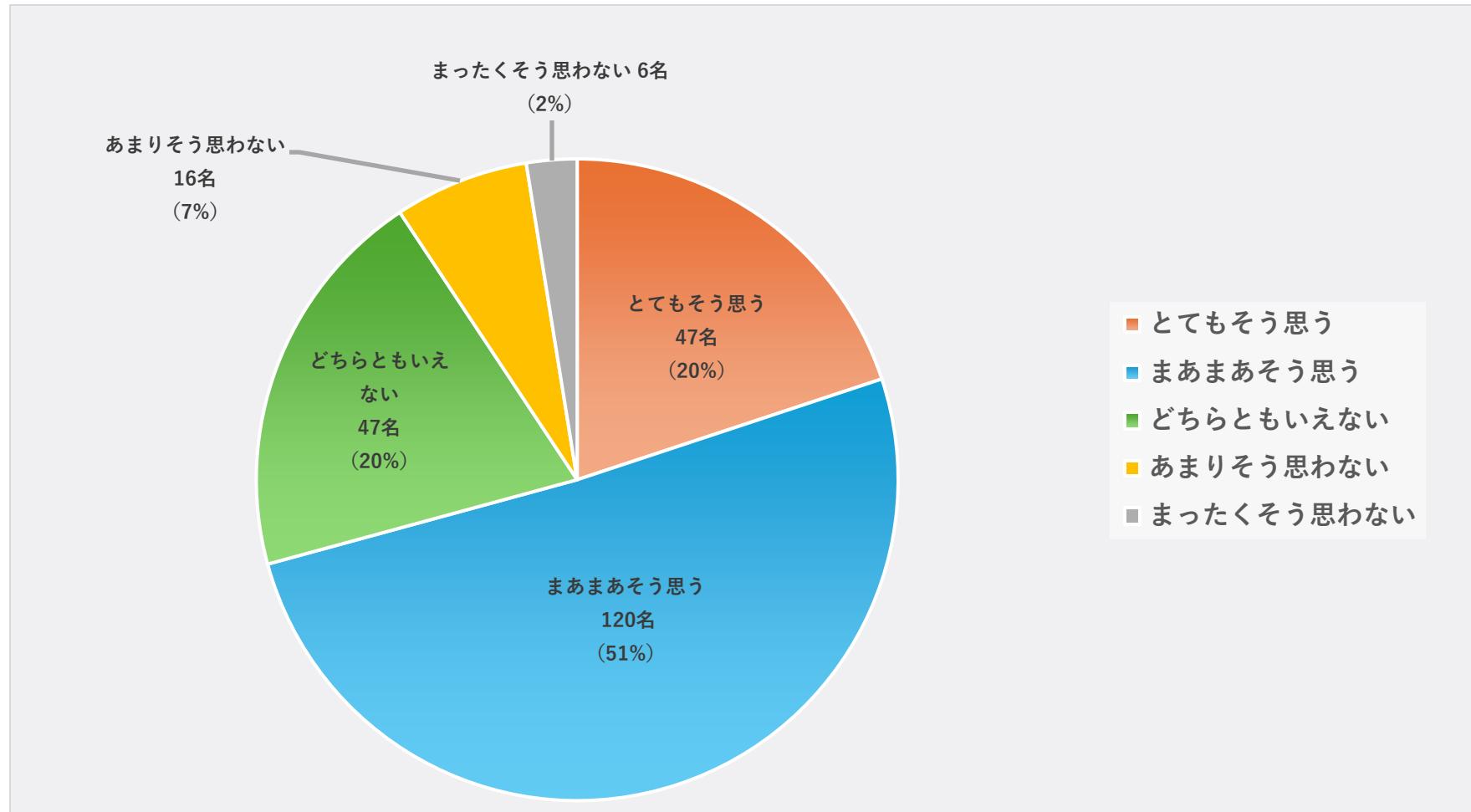
#### 問1-4：児童会・生徒会の役員になったことがありますか



- 「今、役員になっている」「前に役員になったことがある」は計132名（55.9%）となり、「役員になったことはない」は104名（44.1%）であった。
- 過半数以上の児童・生徒が児童会・生徒会の役員経験があった。
- 年齢によるものと考えられるが、「前に役員になったことがある」の回答は中学生36名（42.4%）高校生35名（51.5%）に対して小学生は0%であった。

### 3. 大問1：学校での意見表明

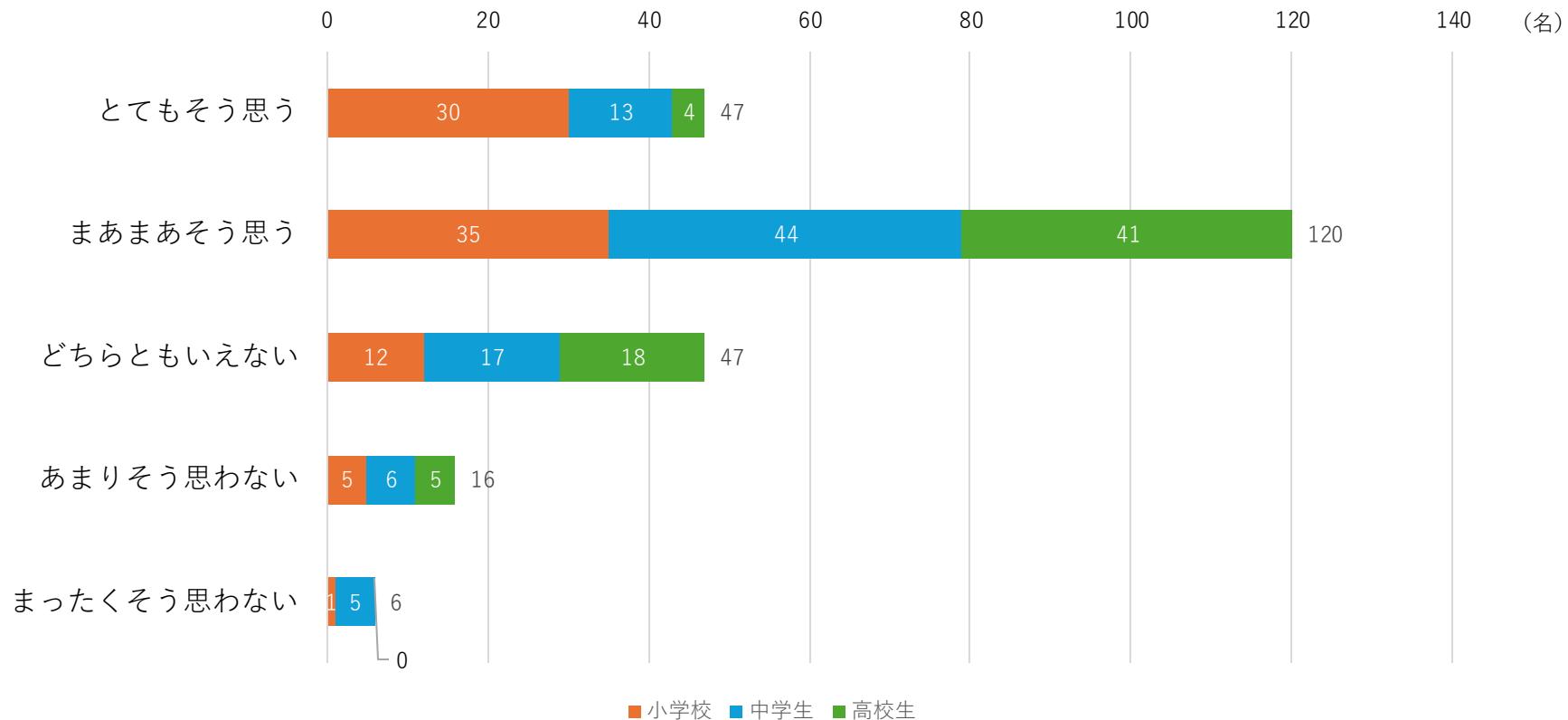
問1-5：児童会・生徒会は自分たちの声を取り入れていると思いますか



- 「とてもそう思う」「まあまあそう思う」、計167名（**70.7%**）が肯定的に評価。
- 「あまりそう思わない」16名（**7%**） 「まったくそう思わない」6名（**2.5%**）で、否定的な見方は約1割にとどまった。

### 3. 大問1：学校での意見表明

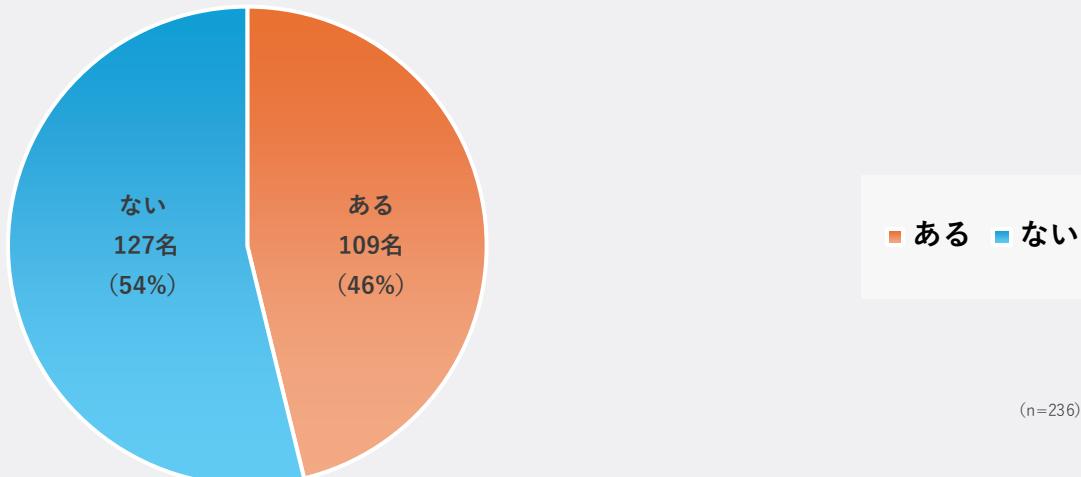
(分析) 問1-5：児童会・生徒会は自分たちの声を取り入れていると思いますか



- 役員の経験の有無が回答にどのように影響しているかを分析した。
- 今役員を勤めている人の多くが「とてもそう思う」「まあまあそう思う」というポジティブな回答をしているのに対し、役員になったことがない人は、そう思うにも意見を入れている。
- 「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の回答については、いずれも半数以上がこの役員未経験者によるものであった。
- つまり、児童会・生徒会を勤めている人たちは自分たちの声を入れていると考えている一方で、役員になっていない人たちの中には自分たちの意見が届いていないと感じている人が一定数いると考えられる。

### 3. 大問1：学校での意見表明

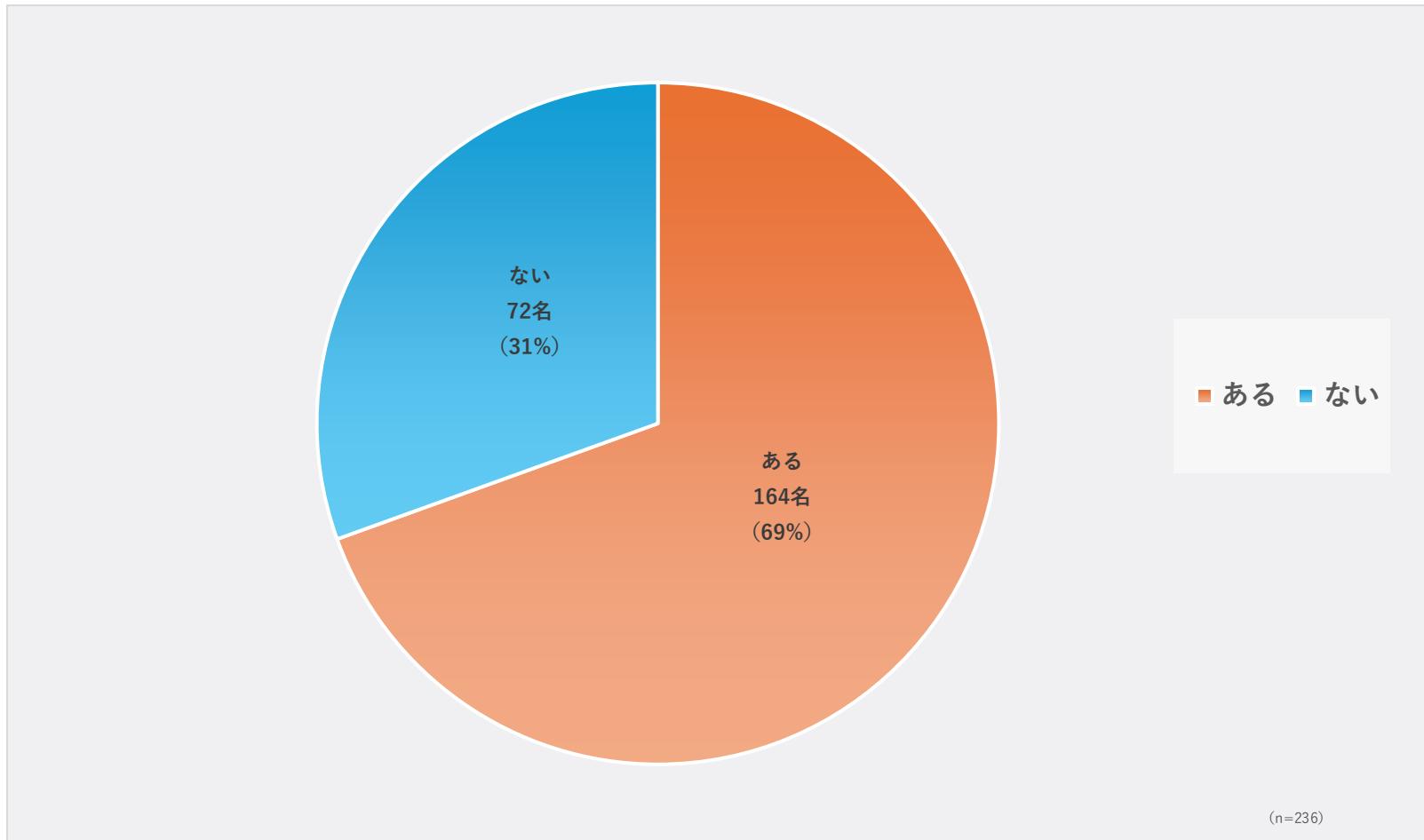
問1-6：児童会・生徒会の活動で、自由に使えるお金（5～10万円）があったら、何かやってみたいことはありますか



- やってみたいことの自由記述では、「イベントを新しく企画したい」が39件、「（文化祭などの）今のイベントの質を向上させたい」が18件と**イベントにお金を使いたい**とした意見が最も多く見られた。
- そのほかには、体育館にエアコンをつける、ボールなどを購入して欲しい、印刷機や本など勉強に関する**備品購入**の要望が多くあり、その次に現在壊れていたり、古くなったりしている**設備の改善**を求める声が7件と続いた。
- 少数意見では、**カフェや交流スペースの設置、慈善事業を行いたい**といった意見も見られた。
- 「ある」と答えた割合が、小学生が53.0%に対し、中学生が43.5%、高校生が41.2%と、**学年が上がるにつれやってみたいことが減る傾向**があった。

### 3. 大問1：学校での意見表明

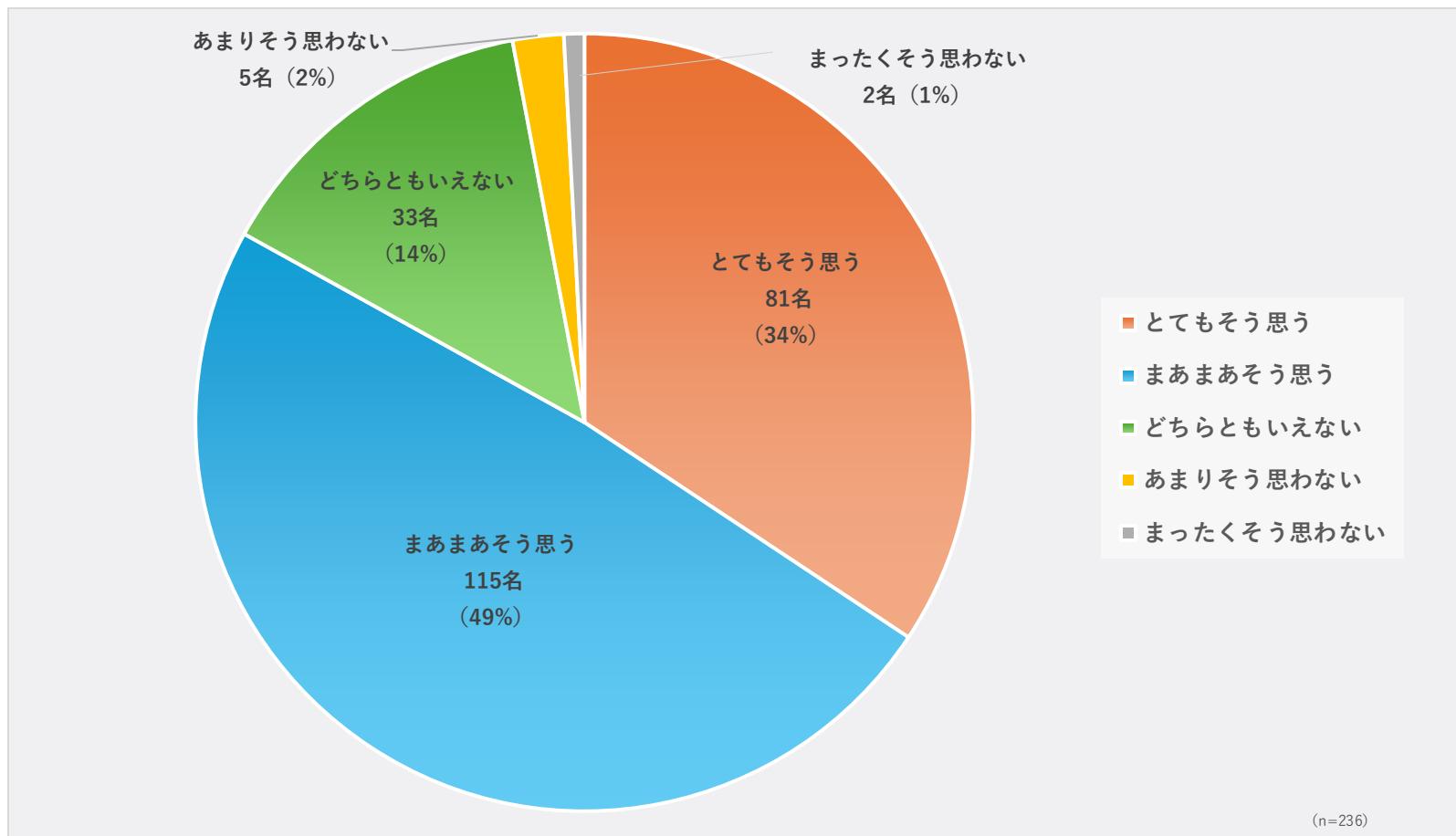
問1-7：学校に関することで、自分たちが意見やアイデアを伝えたり、議論したりする場はありますか



- ・ **7割**近くの学校で、議論する場が設置されている。
- ・ 小学校 (**73.5%**)、中学校(**71.8%**) が7割を超えており、高校 (**61.8%**) の割合が低い。

### 3. 大問1：学校での意見表明

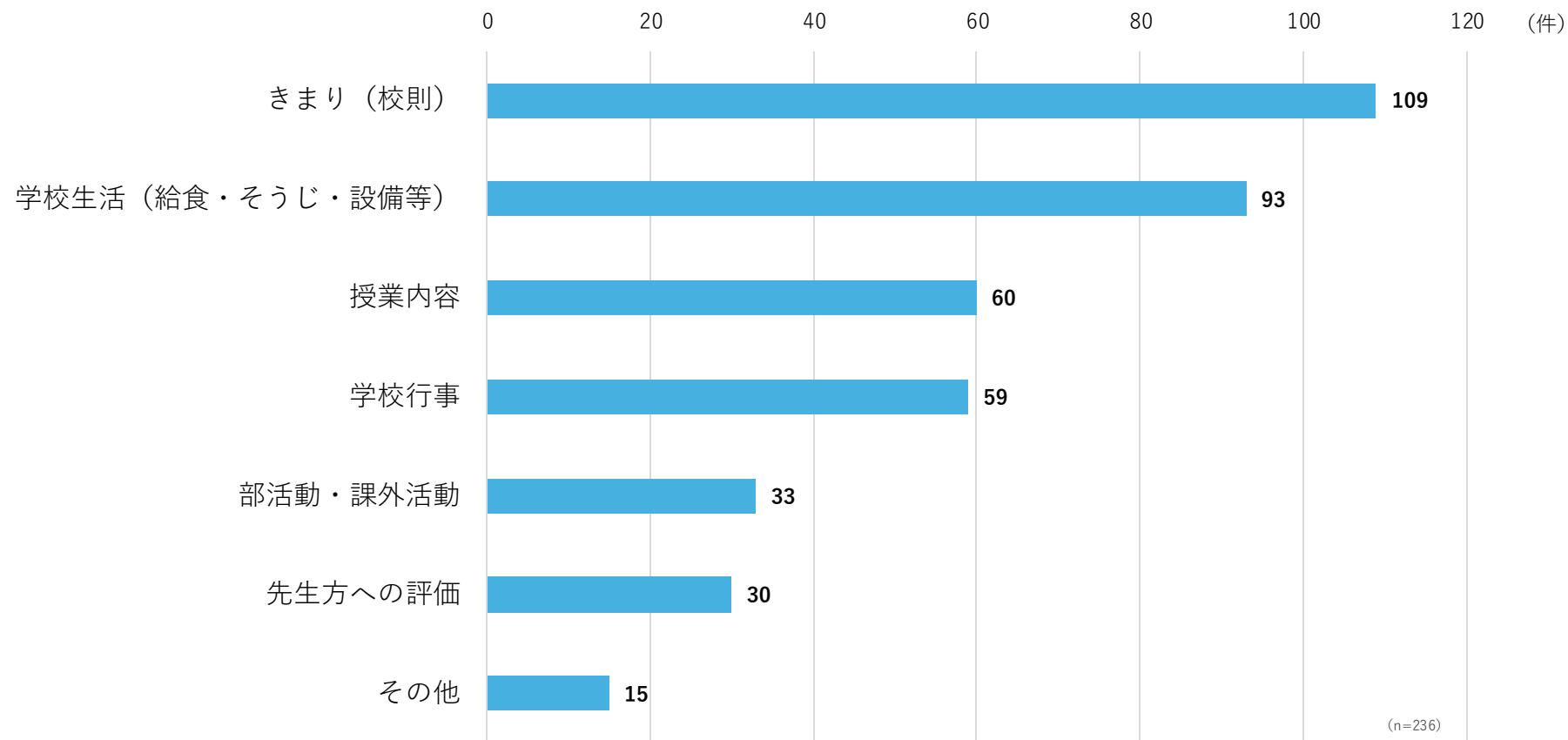
問1-8：学校に関することで、自分たちが意見やアイデアを伝えたり、議論したりする場が必要であると思いませんか



- 「とてもそう思う」「まあまあそう思う」は計**196名 (83%)**となり、約**8割**の児童・生徒が学校での議論の場、意見表明の機会を必要としている結果となった。

### 3. 大問1：学校での意見表明

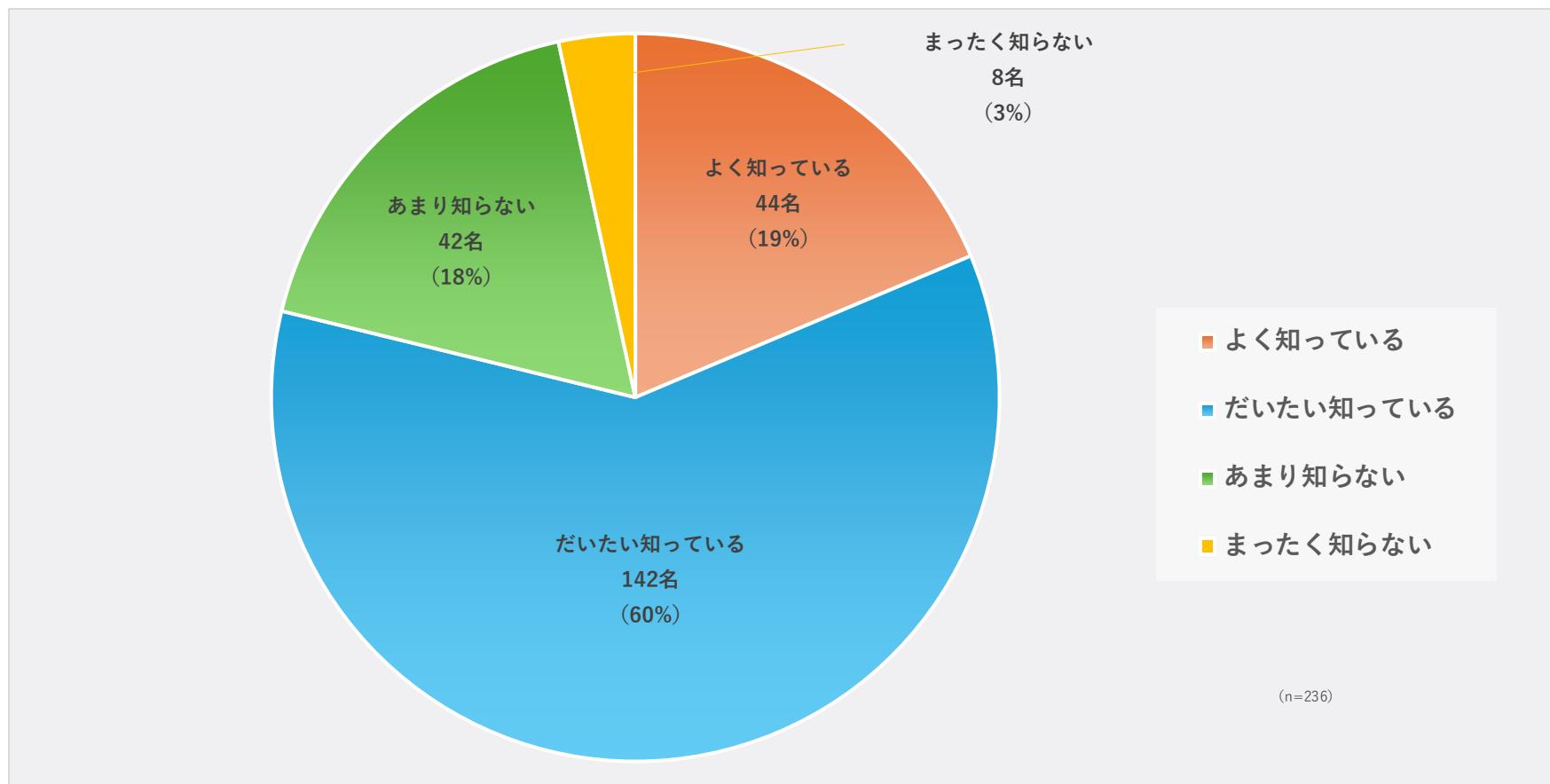
問1-9：もし学校に関することで、自分たちが先生や学校に意見を伝えることができる場があるとしたら、何について伝えたいですか（複数選択可）



- その他：エアコンの設置など空調に関する意見や、仕組みづくりに関する意見、学習や環境に関する意見も見られた。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

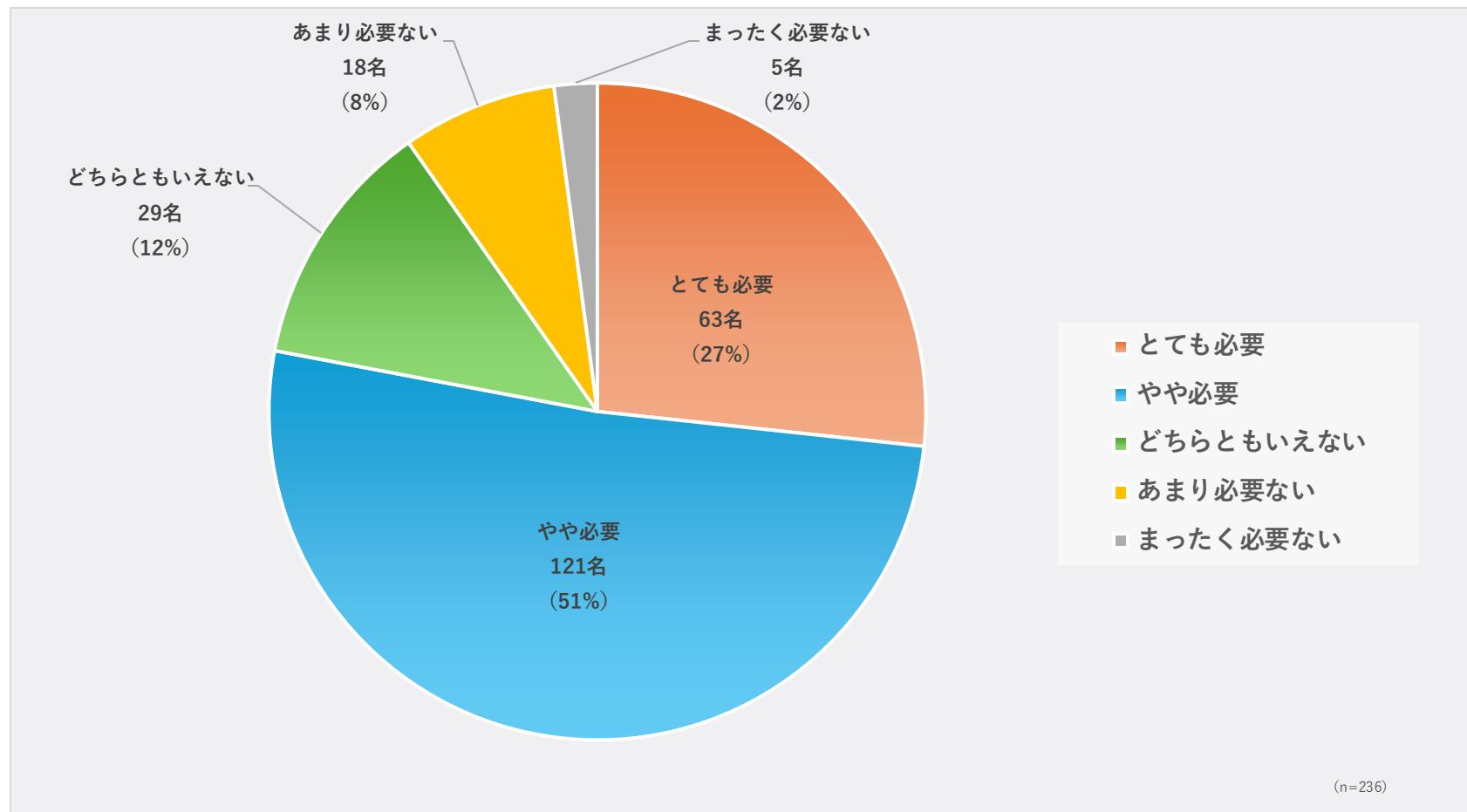
問2-1：あなたの学校のきまり（校則）について、どのくらい知っていますか



- 「よく知っている」 (19%) 「だいたい知っている」 (60%) が、8割近くを占めた。
- 「あまり知らない」 「まったく知らない」という否定的な回答は計50名 (21%) にとどまった。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

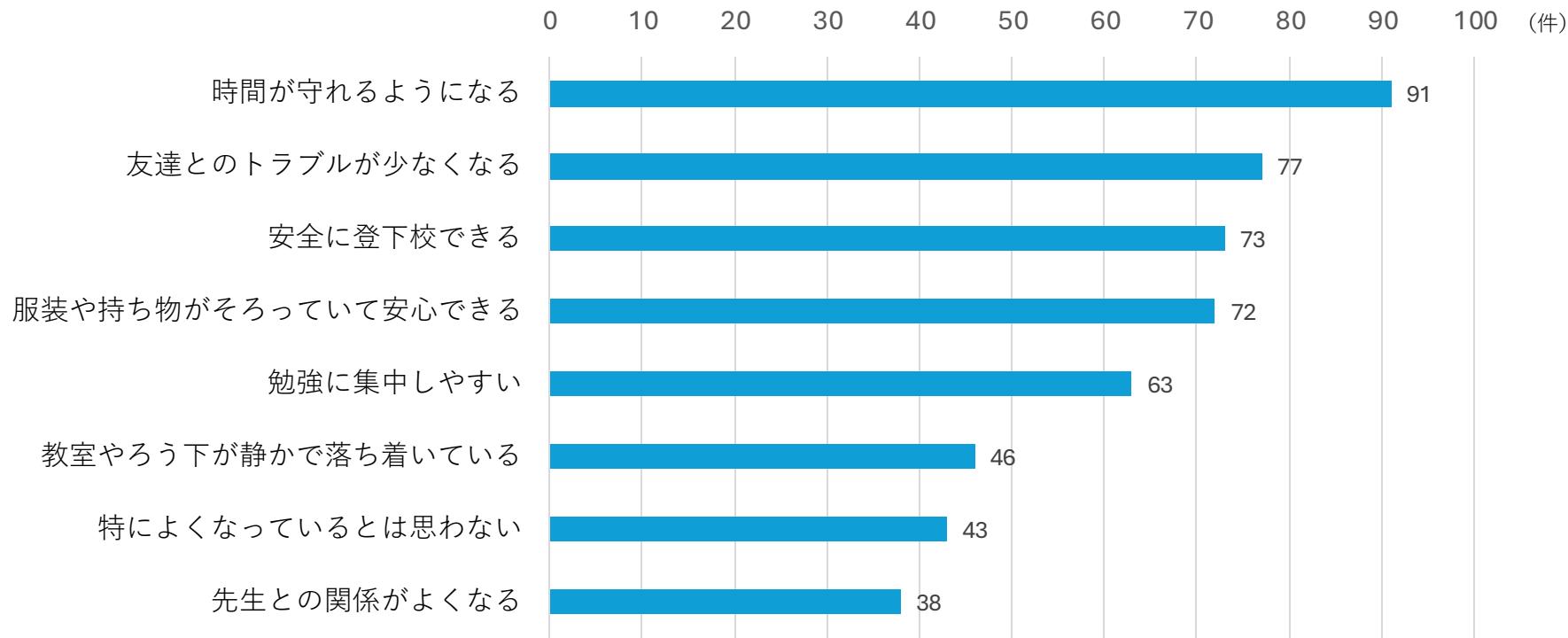
### 問2-2：学校のきまり（校則）は必要だと思いますか



- 「とても必要」と「やや必要」で合わせて**78%**と**8割**近くを占めた。
- 「あまり必要ない」「まったく必要ない」とする意見は**1割**にとどまった。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

問2-3：学校のきまり（校則）があることで、学校生活のどんなところがよくなっていると感じますか  
(複数選択可)



- 時間が守れるようになる（91名）という内容に、4割ほどの回答があった。
- 友達とのトラブルが少なくなる（77名）、安全に登下校できる（73名）、服装や持ち物がそろっていて安心できる（72名）という回答について、いずれも3割ほどの生徒が答えた。
- 特に良くなっていると思わないという生徒が2割弱（43名）いた。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

### 問2-4：学校のきまり（校則）で「よい」と思うもの是否有りますか（自由記述）

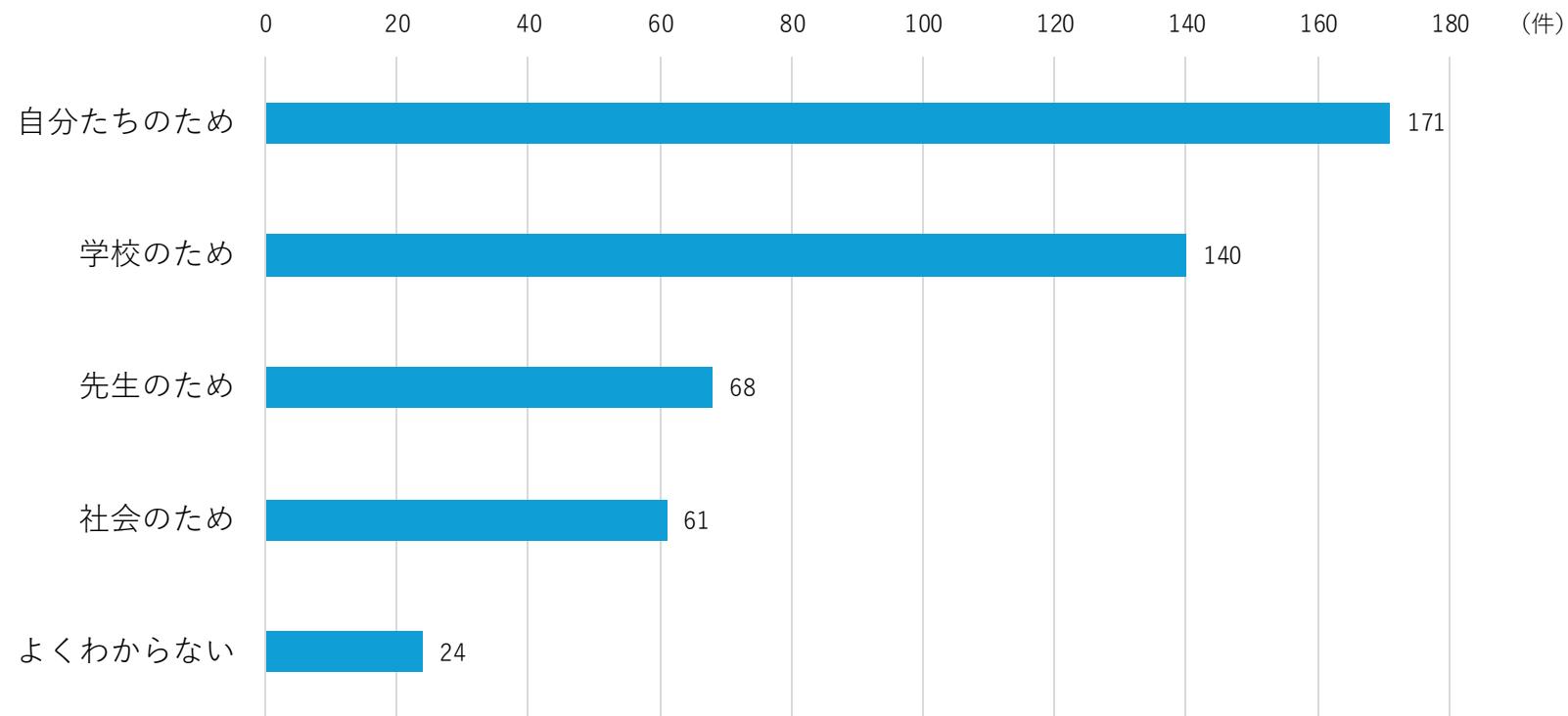
- ・ **校内の安全**について記述したものが**31**件あった。その中で**16**件が**廊下を走らない（歩く）**としたものであり、廊下での過ごし方について特に教員から指導されているのではないかと推測される。
- ・ 次に多かった意見は、**なし、わからない、思いつかない**とした意見が**26**件であった。
- ・ **服装**に関する意見については、自由が認められているのが良いとする側、派手にしてはいけないと決められていることで風紀が乱れないで良いとする側の双方からの意見が計**16**件あった。
- ・ また、学校に必要なものを持ってこないなどの**持ち物**に関する意見も**6**件見られた。
- ・ **登下校についてのルール**が**9**件（うち**4**件が自転車に関する意見）見られた。
- ・ その他では、自由な校風に関する賛成意見や時間厳守、生徒会、挨拶についての校則が挙げられていた。

### 問2-5：学校のきまり（校則）で「気になるもの」「見直してもいいと思うもの」「なぜあるのかわからぬるもの」是否有りますか（自由記述）

- ・ 反対意見で最も多かったのは、**服装に関する意見**で、賛成を上回る**61**件の意見があり、**半数近くは中学生からの意見**であった。その中でも、**7**件あった**靴下**の色やサイズの指定を意見の大半が中学生からの意見であり、**中学校が特に服装規定が厳しいのではないか**と考えられる。
- ・ 他には、上着を着てはいけない等のルールで暑い/寒いため、自由に着用を許可してほしいという意見や、髪の毛を染めてもいいのでは等の服装に関する色やサイズが厳しい、キーホルダーの数に関する指定を自由にしたいなど、**服装や持ち物の自由を求める意見**など幅広く見られた。
- ・ 校内でのルールが厳しいとする意見が**8**件、**放課後の時間**に関する規定への意見、**登下校時**に関する意見が**7**件ずつ、清掃を黙って行うことへの意見が**6**件、給食についての意見が**5**件あった。
- ・ 少数意見では主に小学生からと思われる、シャープペンシルの持ち込み禁止への意見が**3**件あった。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

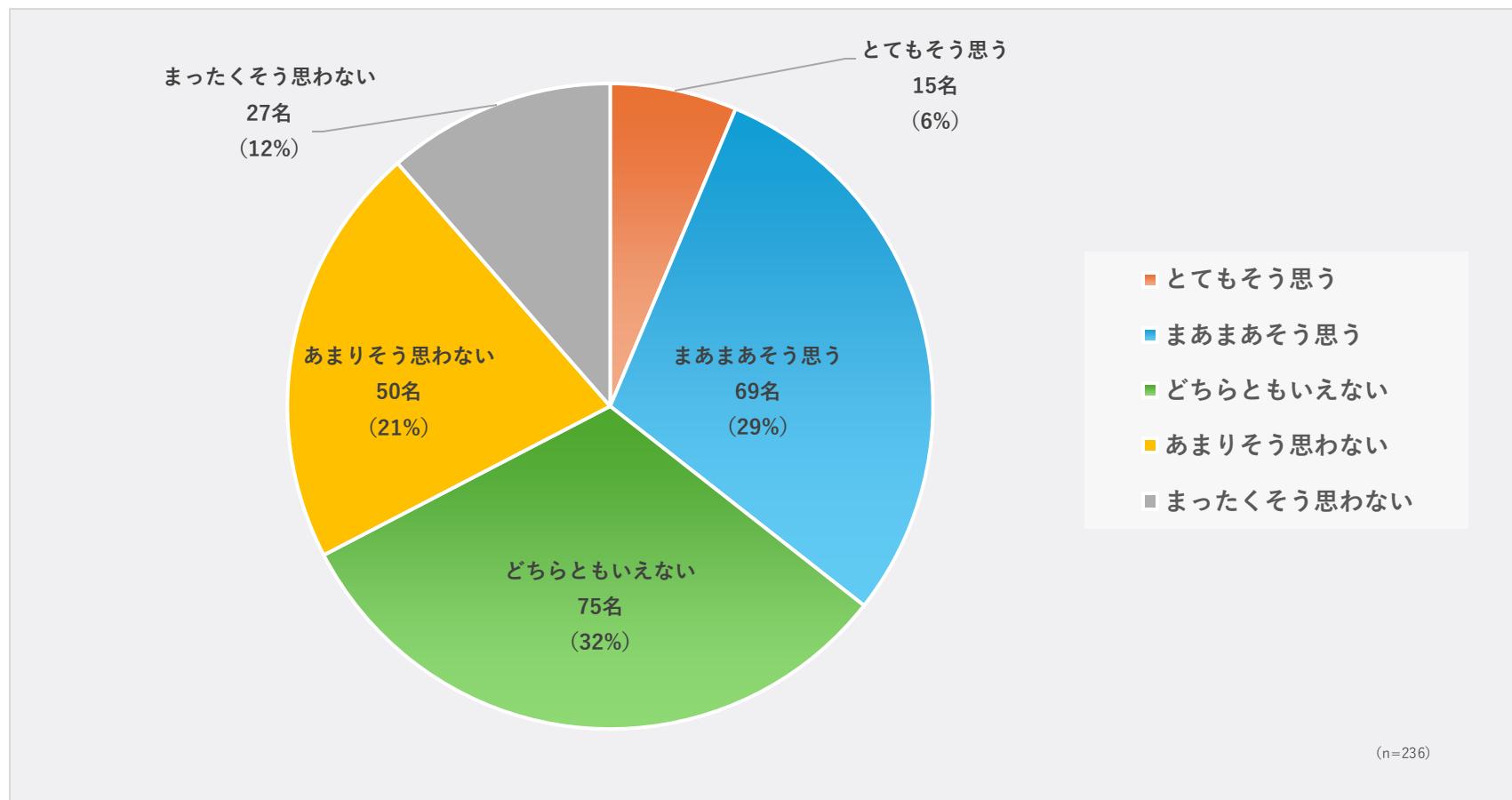
問2-6：学校のきまり（校則）は、誰のためにあると思いますか（複数選択可）



- 「自分たちのため」と答えた生徒が最多の**171**名で過半数を占めた。
- 「よくわからない」と答えた生徒は1割ほど（**24**名）であった。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

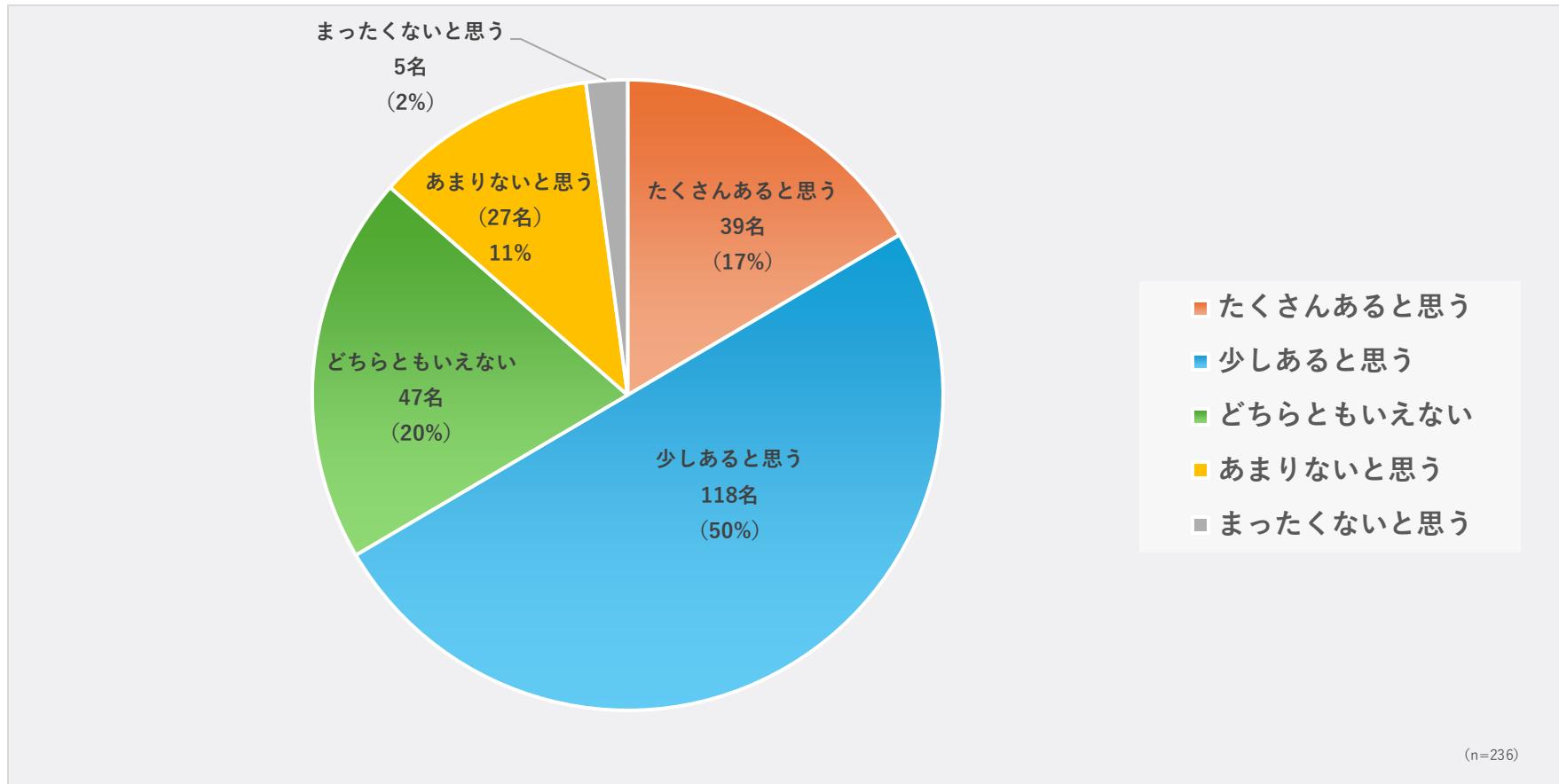
問2-7：学校のきまり（校則）の内容について、自分たちの意見やアイデアが取り入れられていると思いますか



- 「とてもそう思う」「まあまあそう思う」では35%にとどまったのに対し、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」という否定的な回答も33%見られる。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

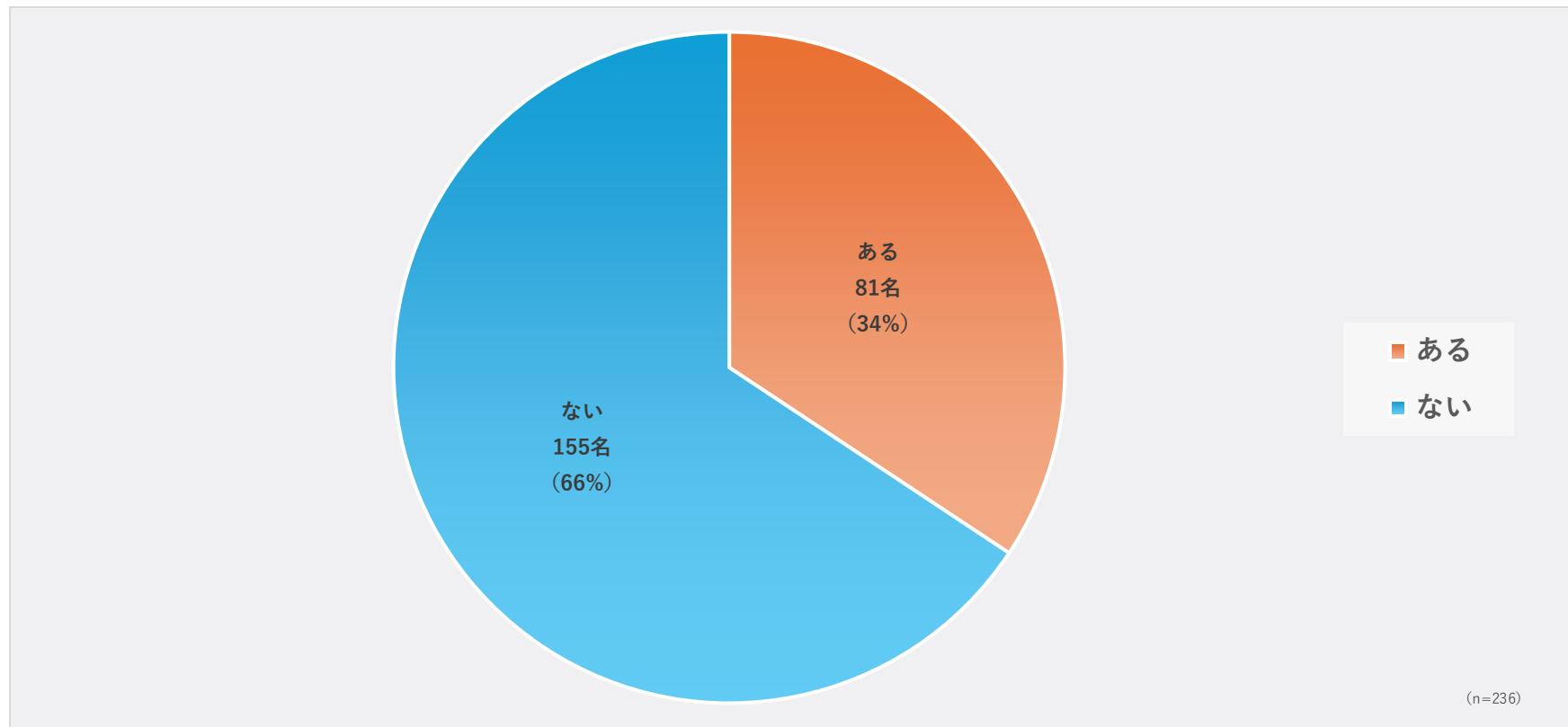
問2-8：学校のきまり（校則）をもっとよくするために、自分たちにできることがあると思いますか



- 「たくさんあると思う」「少しあると思う」という肯定的な回答が合計**157名 (67%)**と7割近くで、「あまりないと思う」「まったくないと思う」という否定的な回答は合計**32名 (13%)**にとどまった。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

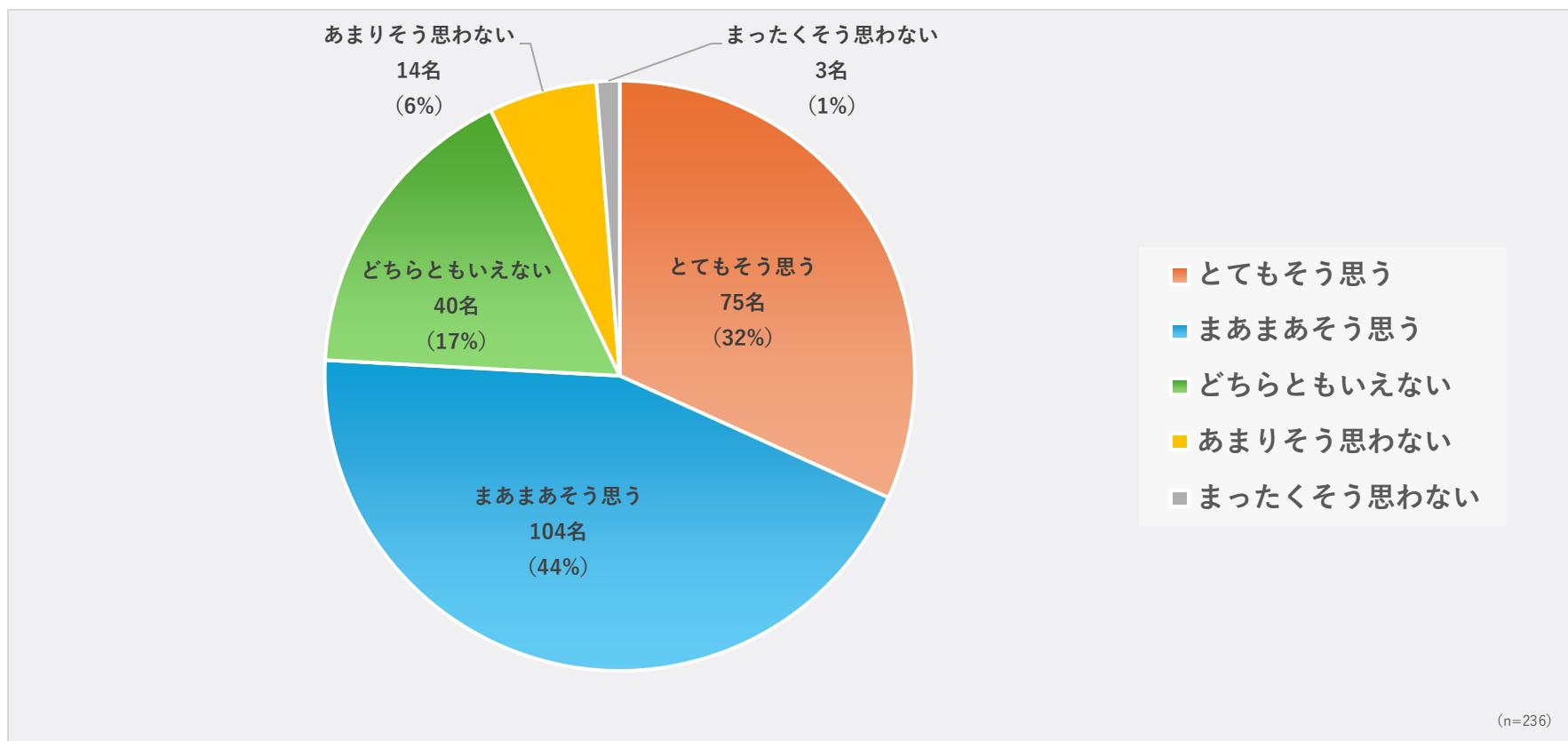
問2-9：学校のきまり（校則）について、見直したり、みんなで話し合ったりする場はありますか



- ・ あると答えた生徒が（34%）に対して、ないと答えた生徒が（66%）と多数であった。
- ・ あると答えた割合が、小学生（30%）、高校生（26%）が低いのに対して、中学生（45%）は高く、中学校では服装規定を含む各種規則が多く設けられており、これらを検討・見直す機会も相対的に多いと考えられる。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

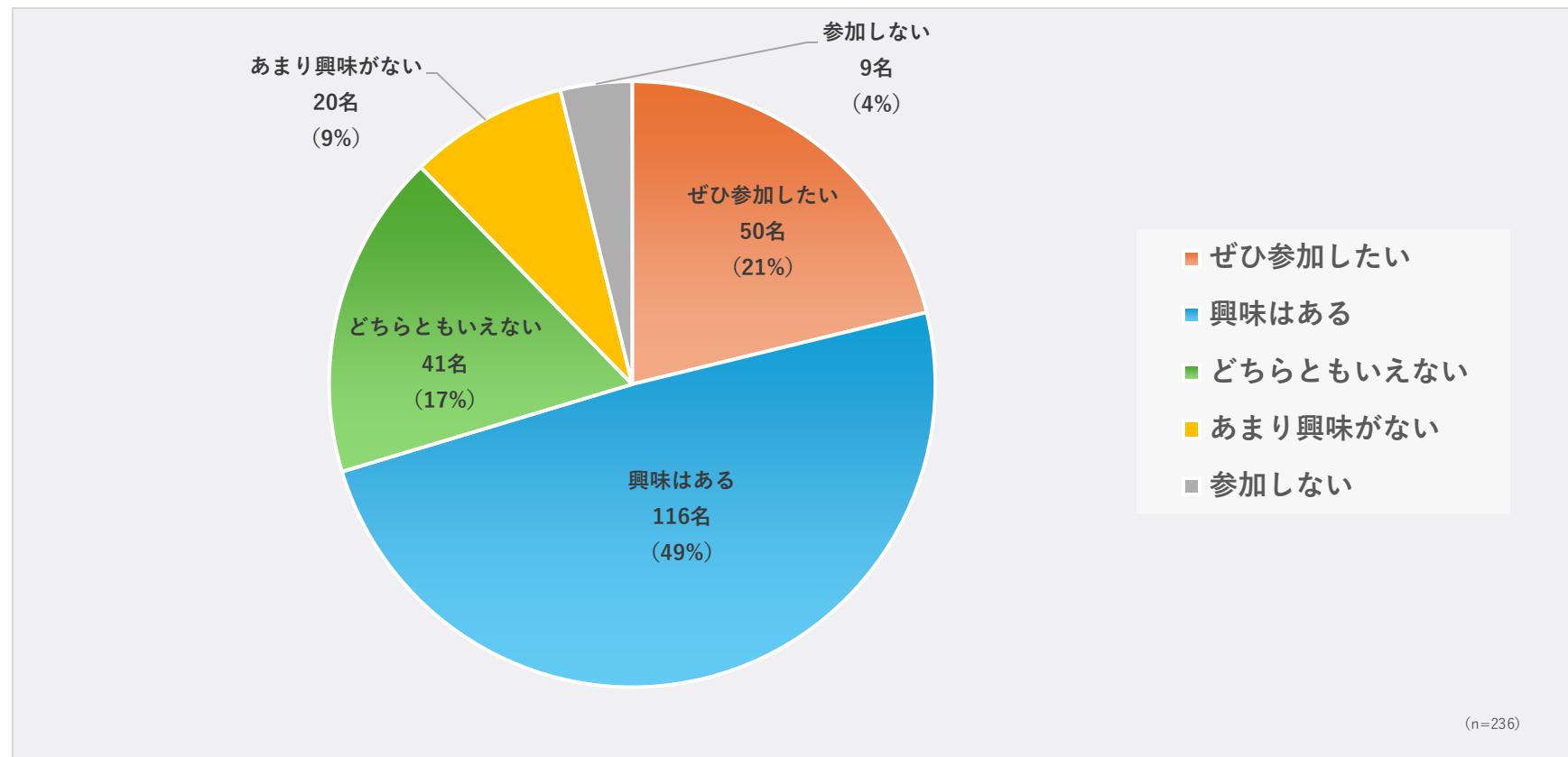
問2-10：学校のきまり（校則）について、見直したり、みんなで話し合ったりする場があるといいと思いますか



- 「とてもそう思う」「まあまあそう思う」という肯定的な回答が合計**179名 (76%)** であった。
- 「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」は合計**17名 (7%)** にとどまった。
- 「どちらともいえない」は**40名 (17%)** であった。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

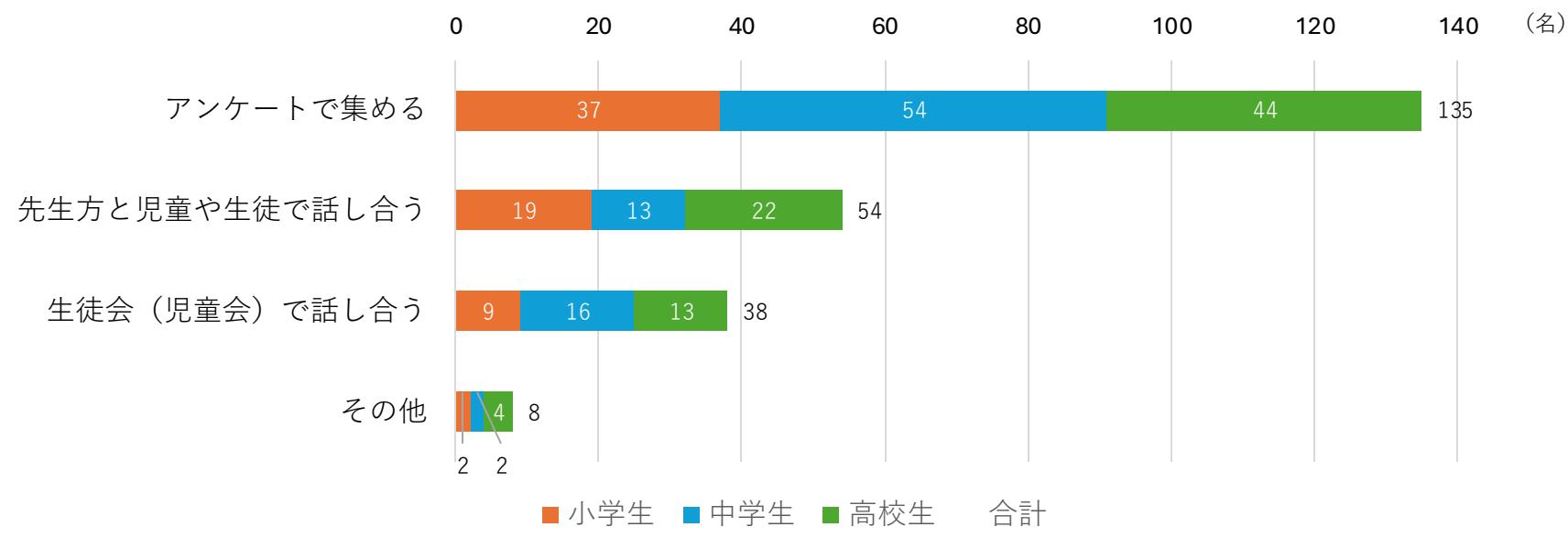
問2-11：学校のきまり（校則）の見直しに、自分たちが参加できるとしたら参加しますか



- 「ぜひ参加したい」「興味はある」という肯定的な回答が合計**166名 (70%)** であった。
- 「あまり興味がない」「参加しない」は合計**29名 (13%)** にとどまった。
- 「どちらともいえない」は**41名 (17%)** であった。

## 4. 大問2：学校のきまり・校則

問2-12：学校のきまり（校則）を見直すとしたら、どのような方法がよいと思いますか

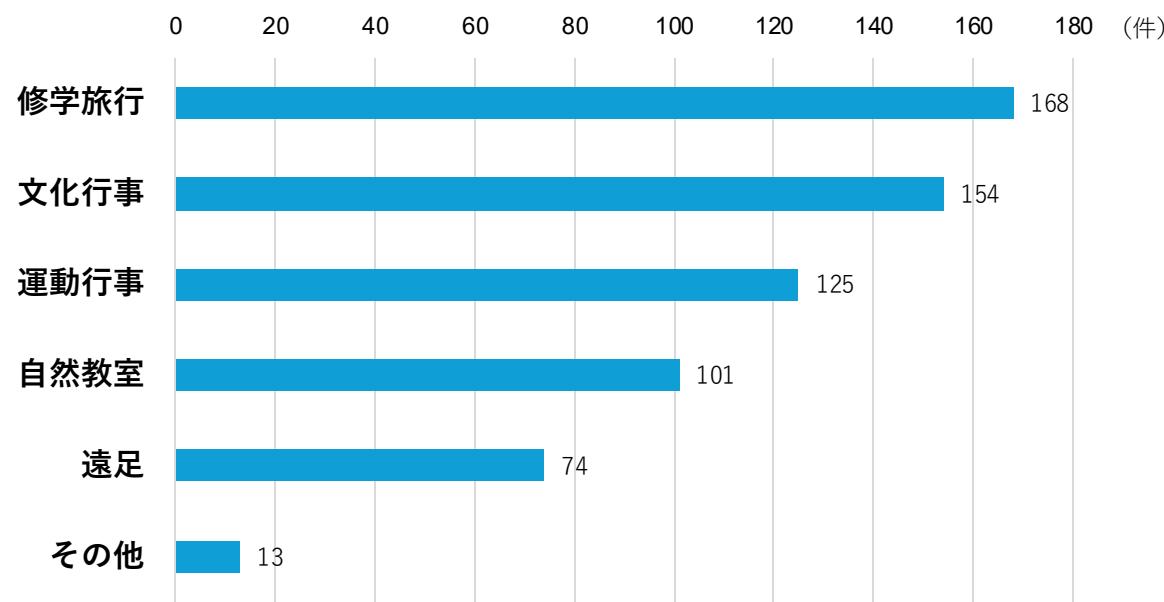


(n=235) 1つ空白回答あり

- 「アンケートで集める」とした生徒が最多（135名）となった。
- その他では、「アンケートとみんなでの話し合い」「先生と一対一で話し合う」とした意見や、「意見が言えない子もいるから、それぞれ違う形で話し合う」というより広く意見を募る方法を考えた意見、「生徒会で話したいが、先生が介入することは明らかに加え、工程が多くなかなか変えることができない。」という生徒会経験者と考えられる生徒の現実的な意見も見られた。
- 中学生は「アンケートで集める」「生徒会で集める」を選んだ割合が高校生、小学生より高いのに対し、「先生方と児童や生徒で話し合う」の割合が他より低く、**自主的に校則を見直したい中学生の気持ち**が伺える。

## 5. 大問3：学校行事

### 問3-1：好きな学校行事はどれですか（複数選択可）



<その他>

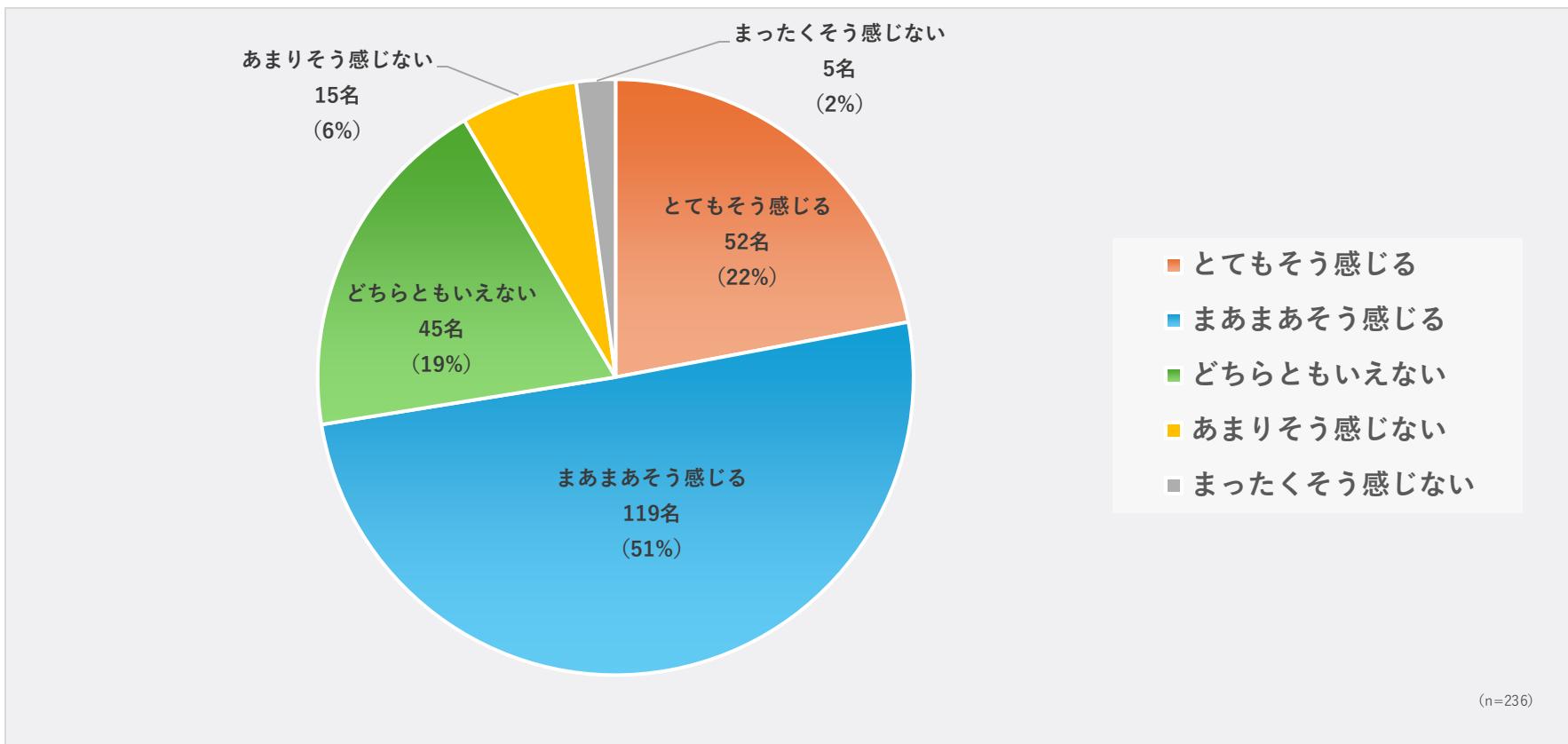
- ・お菓子作り
  - ・スキー教室
  - ・学校行事が好きではない
- といった意見もあった。

### 問3-2：学校行事で「気になるもの」「見直してもいいと思うもの」はありますか（自由記述）

- ・「なし／特にありません」とした意見が30件で最多であった。
- ・**体育祭に関する意見**が17件あり、体育祭が好きではないと考えられる意見の他に、「春頃になったことで練習時間」がない、「時期が暑すぎる」などという改善案を含む意見も見られた。
- ・体育系ではマラソン大会、強歩大会を見直したいという意見も3件寄せられた。
- ・**文化祭と合唱コンクール**に関する意見は11件あり、その中には、「文化祭の時間や日時を長くしたい」、「より人が来れる土日にしてほしい」とする具体的な改善案を含む回答もあった。
- ・**修学旅行や校外学習**に関する意見は、12件寄せられた。より行き先や参加について生徒の自主性や**主体性**を求める声、行事の縮小への不満なども見られた。

## 5. 大問3：学校行事

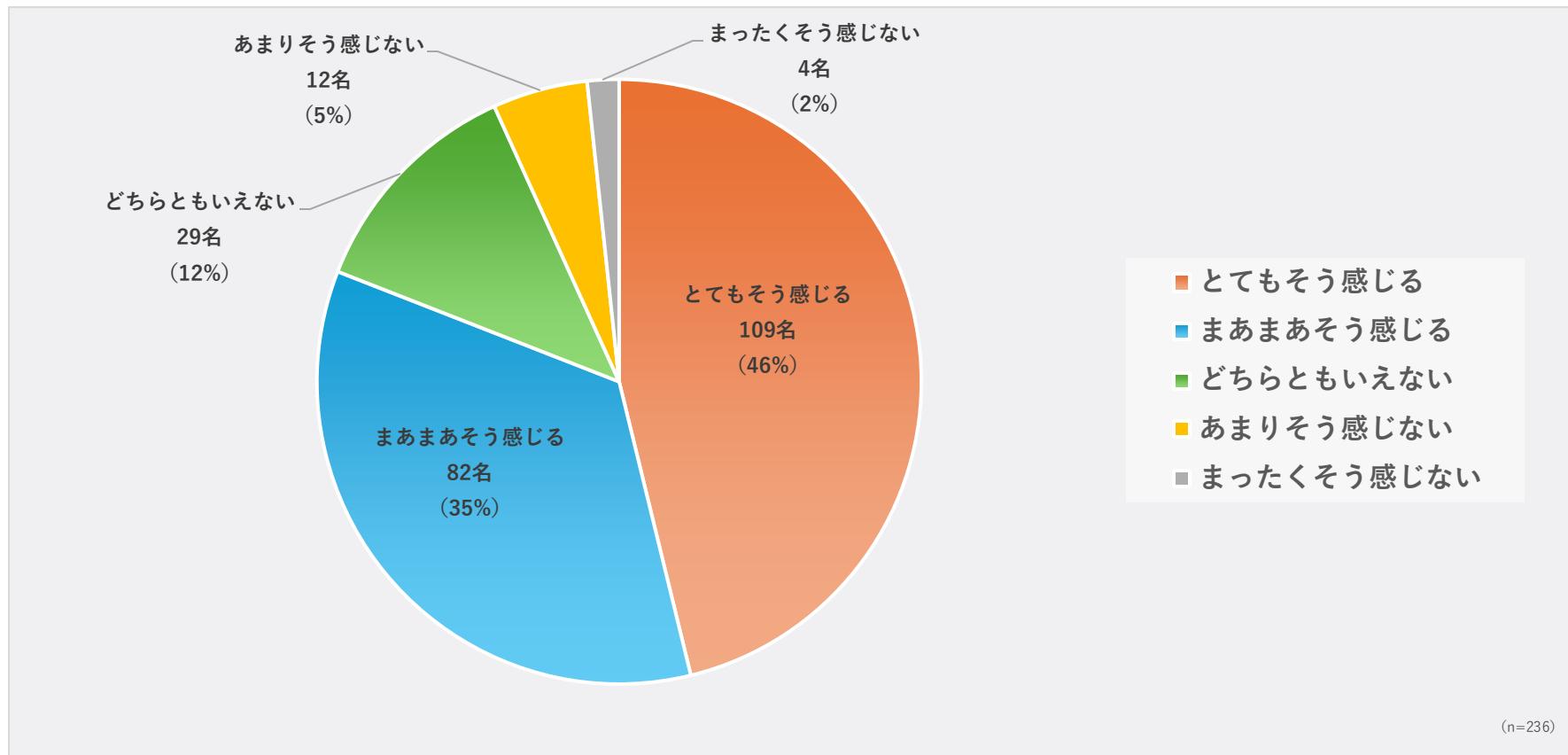
問3-3：色々な学校行事を行うときに、自分が希望した役割や得意なことを行うことができていますか



- 「とてもそう感じる」と「まあまあそう感じる」という肯定的な回答が、合計**171名 (73%)**と**7割**近くに迫る勢いで、**多くの生徒が希望した役割や得意なことができている**という回答であった。
- 一方、**20名 (8%)**の生徒が「あまりそう感じない」「まったくそう感じない」という答えであった。

## 5. 大問3：学校行事

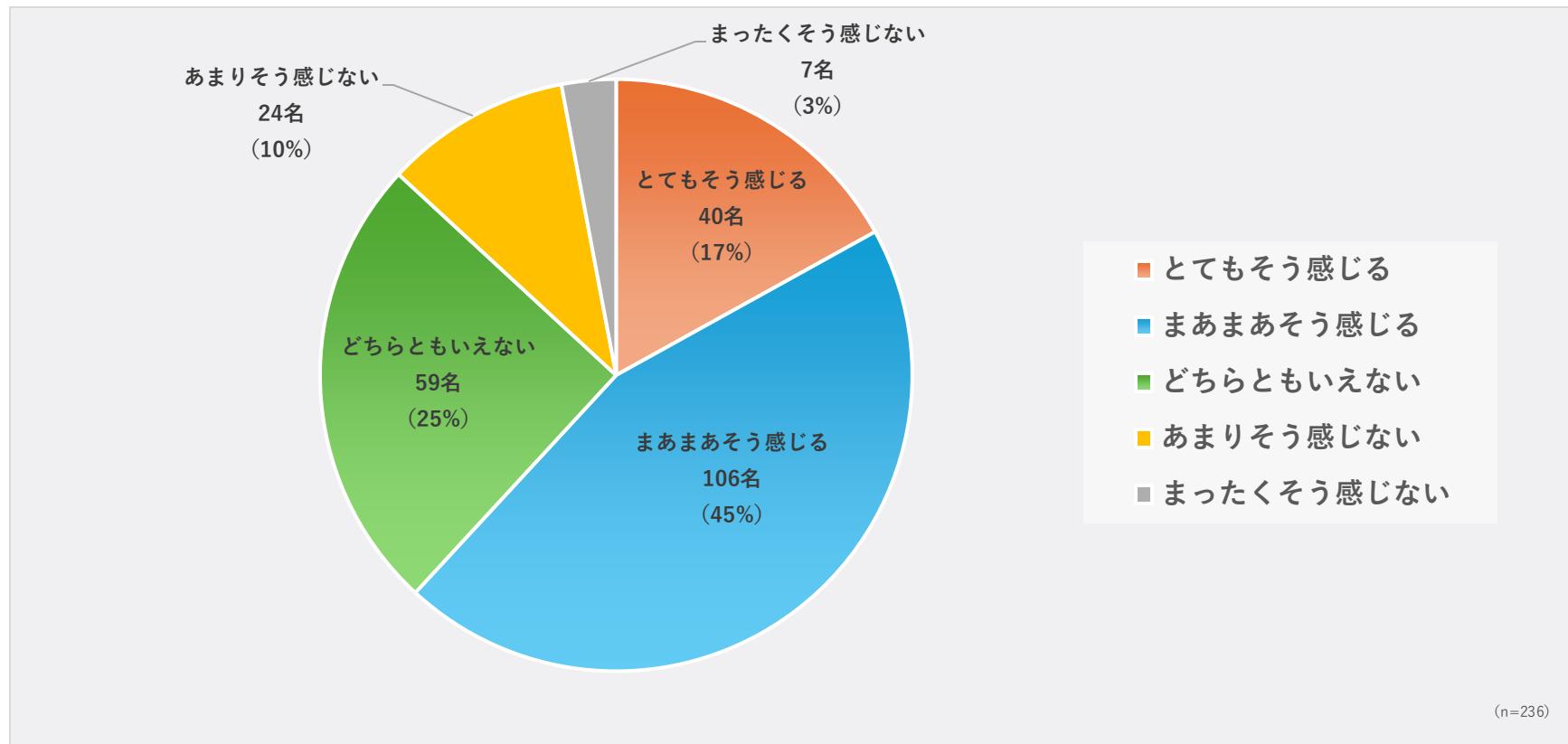
問3-4：色々な学校行事に参加することで、友だちとの仲が深まると感じますか



- 「とてもそう感じる」「まあまあそう感じる」という肯定的な回答が合計**191名 (81%)**と非常に多くの生徒が学校行事で友人関係が深まっているようである。
- 特に「とてもそう感じる」と答えた生徒が**5割**に迫る勢いで、多くの生徒が実感している様子。
- ただし「深まると感じない」生徒も**1割**程度いることには注意したい。

## 5. 大問3：学校行事

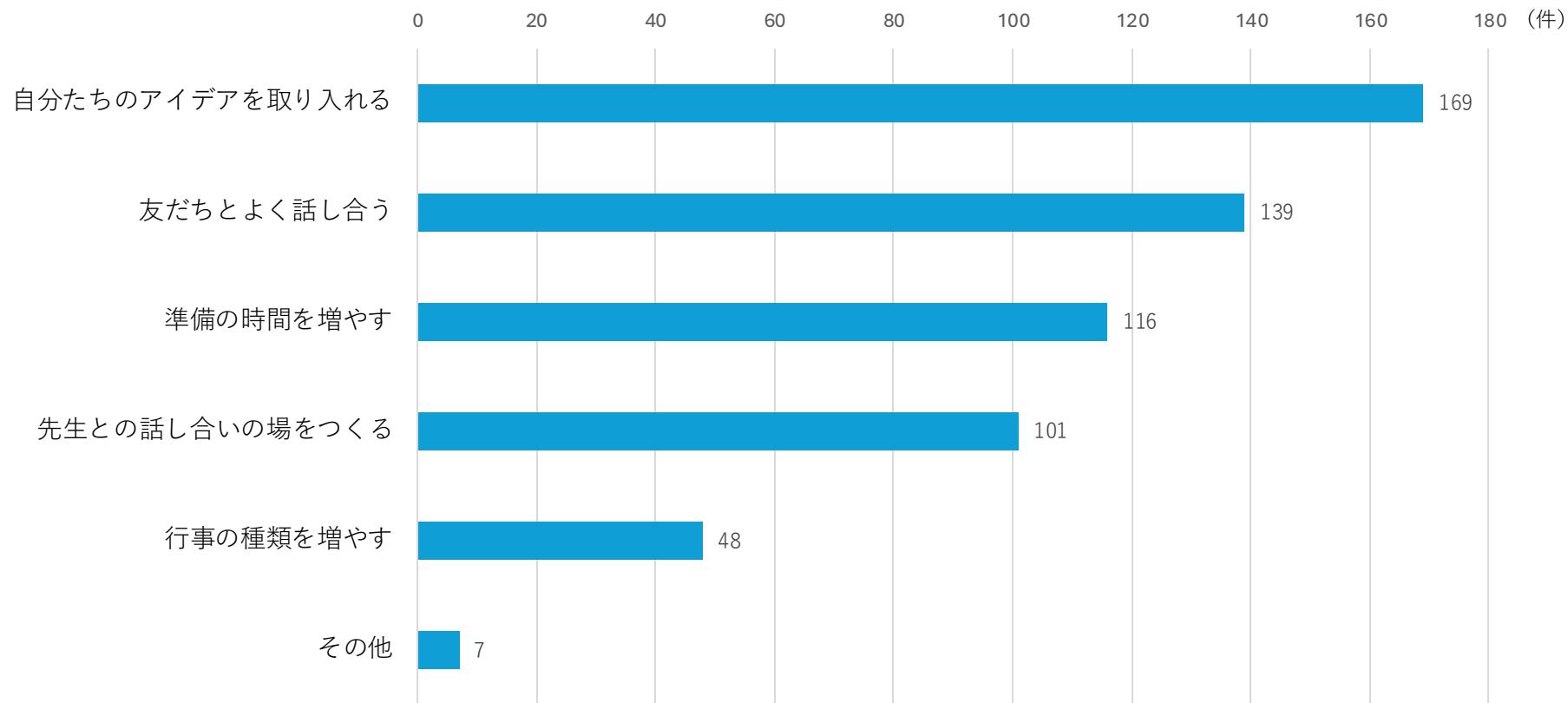
問3-5：色々な学校行事で、自分たちの意見やアイデアが取り入れられていると感じますか



- 6割以上の生徒が「とてもそう感じる」「まあまあそう感じる」と答えていることから、ある程度は生徒の声を反映しながら行事を運営できていると考えられる。

## 5. 大問3：学校行事

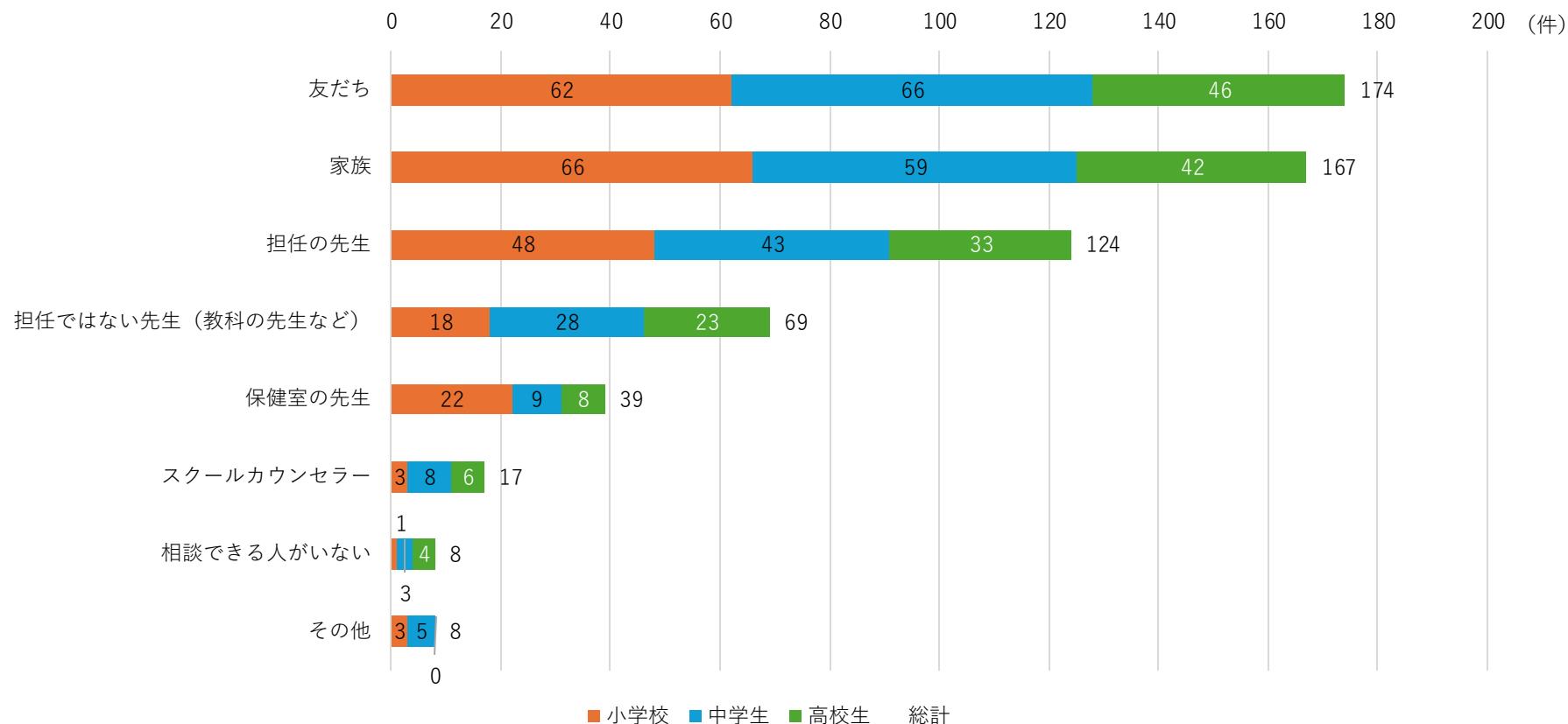
### 問3-6：学校行事をより楽しくするために必要だと思うことは何ですか（複数選択可）



- ・「自分たちのアイデアを取り入れる」「友達とよく話し合う」との回答が過半数を超える支持を得た。
- ・「準備の時間を増やす」「先生と話し合いの場をつくる」という回答も**100名**を超えており、まずは自分たちの意見を含め、**関係者で対話をする時間**が必要ではないかと考えられる。

## 6. 大問4：その他

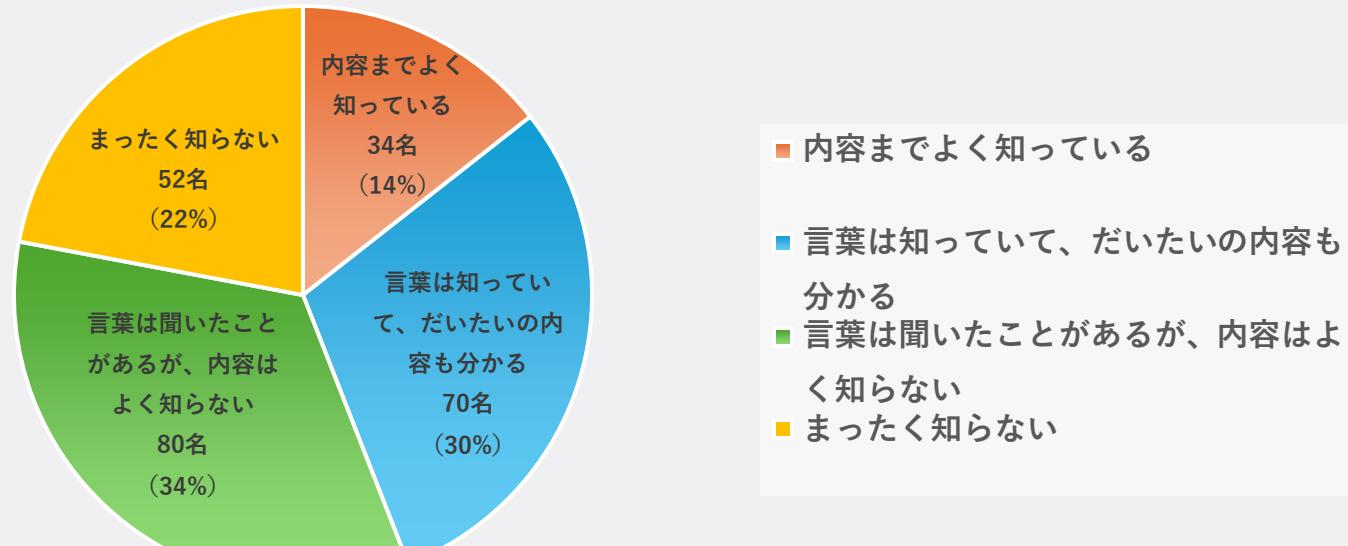
### 問4-1：学校で困った（こまつた）とき、相談できる人がいますか（複数選択可）



- ・ 身近な**友達や家族**が多く、その次に先生が続く。
- ・ 教科担任制になるのが中学生からだからか、「**担任ではない先生**」と答えた生徒は**中高生**に多い。
- ・ **小学生**はその分**保健室の先生**の割合が高い。
- ・ 「スクールカウンセラー」と答えた人は少なく、スクールカウンセラーの認知度の低さや接触回数の少なさを示す可能性があるのではないか。

## 6. 大問4：その他

問4-2：「フリースクール（学校に行けない子どもや、行かない選択をした子どもが色々な形で学べる場）」を知っていますか

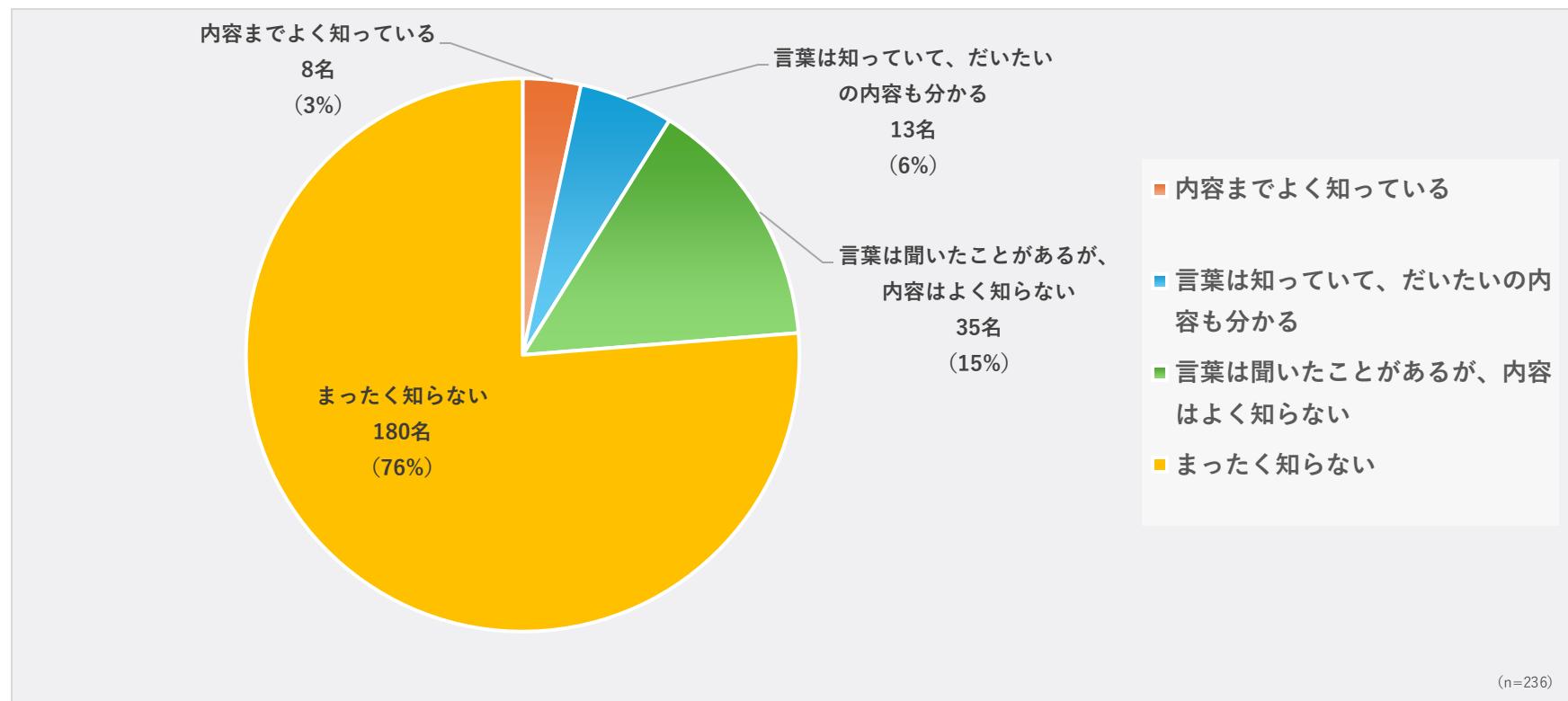


(n=236)

- 「内容までよく知っている」「言葉は知っていて、だいたいの内容もわかる」と、内容まである程度わかっている人の割合は**44%**と半数弱にとどまった。
- 「言葉を聞いたことがあるが内容をよく知らない」とした人が**80名 (34%)**、「まったく知らない」とした人が**52名 (22%)**となり、まだまだフリースクールの認知や理解が途上であることがわかった。
- 学年が上がるにつれ、認知度や理解度が上昇していくことから、繰り返しの周知が必要だと考えられる。

## 6. 大問4：その他

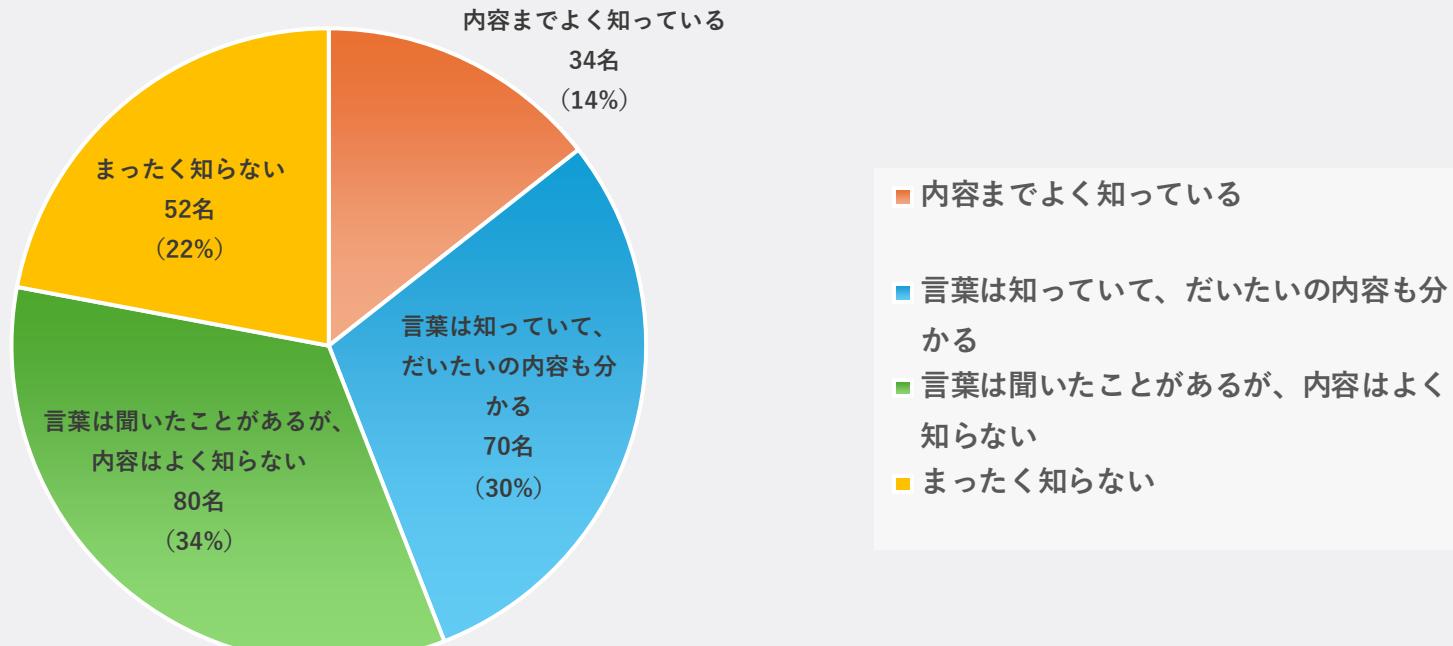
問4-3：令和6年4月に長野県で始めた「信州型フリースクール認証（にんしょう）制度」を知っていますか



- 「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」とした人（15%）と「まったく知らない」とした人（76%）を合わせると、9割を超える人があまり詳しくないことがわかった。
- 「まったく知らない」の割合は中学生（73%）と高校生（71%）に対し、小学生が（84%）と高く、必要性の問題か、小学校の周知率の低さか、原因を考える必要がありそうだ。

## 6. 大問4：その他

問4-4：令和7年3月に長野県が公開した、「長野県フリースクール等情報ポータルサイト（愛称：kikka☆link～きっか・リン～）」を知っていますか



- 肯定的な回答より若干否定的な回答が上回っており、こちらも**認知度を上げる取り組み**がさらに必要となると考えられる。

# 調査結果から見えてきたこと

## 1 意見が届くしくみづくり

- ・半数が「意見を言いたい」と思う一方、実際に伝えた人は同じく半数程度。
- ・話し合いの場はあるが、十分に活用できていない。
- ・生徒会・児童会の役員経験で「意見が反映される実感」が大きく異なる。  
→誰でも参加できる話し合いの場と、意見を受け止める体制が大切

## 2 校則を“理由と目的”から見直す

- ・校則は「必要」と感じつつ、服装・頭髪・暑寒対応・持ち物などに不満が多い。
- ・見直しの機会は少ないが、参加したい人は多い。  
→校則の目的を共有し、定期的な見直しの場をつくることが必要

## 3 行事は“企画段階から”参加するともっと良くなる

- ・行事の満足度は高いが、体育祭・文化祭などに改善意見が多い。
- ・「準備時間の確保」「意見を反映してほしい」などの声。  
→学校行事に企画段階から生徒の意見を取り入れる仕組みが求められる

## 4 相談・進路の情報はもっとわかりやすく

- ・フリースクールなどの制度を知らない人が多い。  
→相談先・学びの選択肢の周知を強化する必要

## まとめ

みんなの声を日常的に集めて、学校のしくみ・校則・行事づくりに生かす流れや体制が大切！